

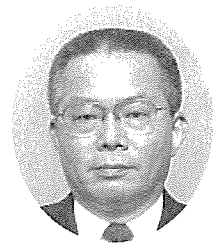
7. ソフトテニス

(1) 役員

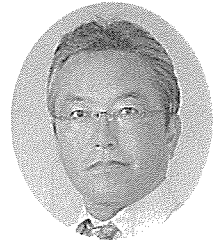
専門部部長	津田	政之	大分商業	高等学校
専門部委員長	平原	英和	大分商業	高等学校
専門部副委員長	佐藤	光晴	大分商業	高等学校

支部役員

大分支部	高橋	泰成	大分舞鶴	高等学校
別速杵国東支部	吉良	洋介	明豊	高等学校
県北久大支部	大富	忠洋	日田林工	高等学校
県南豊肥支部	渡邊	洋	佐伯豊南	高等学校



部長 津田 政之



委員長 平原 英和

(2) 所感

平成24年度県総体の団体戦は、男子は中津東高校、女子は明豊高校が制し、新人大会は、男子・楊志館高校、女子・明豊高校という結果であった。

平成25年度地元開催のインターハイへの展望を踏まえて近年の県総体の戦績を振り返ってみると、

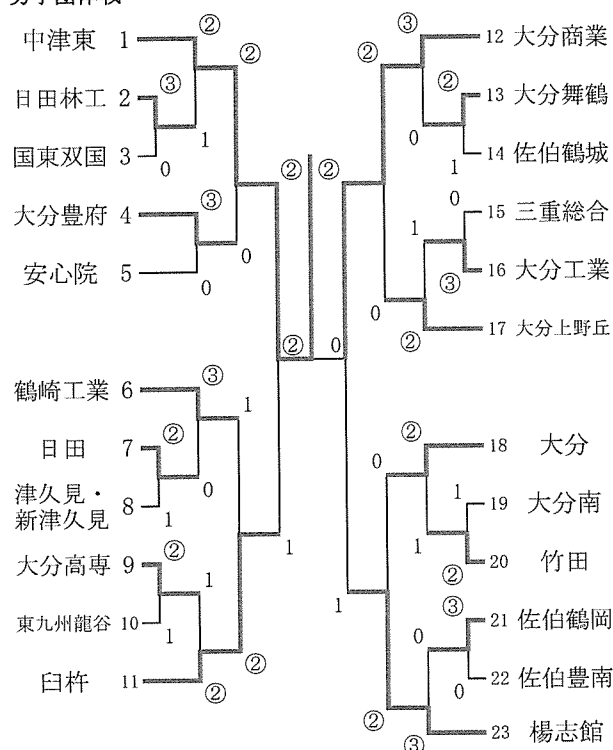
平成16年	男子	大分商業	女子	明豊、
平成17年	男子	大分商業	女子	明豊、
平成18年	男子	中津工業	女子	明豊、
平成19年	男子	大分商業	女子	大分商業、
平成20年	男子	大分商業	女子	大分商業、
平成21年	男子	楊志館	女子	大分商業、
平成22年	男子	楊志館	女子	楊志館
平成23年	男子	楊志館	女子	大分商業
平成24年	男子	中津東	女子	明豊

という結果である。その要因には、指導者の努力が一番に挙げられるが、平成20年度の大分国体への強化の取り組み状況によって中学生の進路選択にひとつの道筋ができたのも大きな要素である。地元国体開催直前の8月の埼玉インターハイにおいて、大分商業高校が男女ともに団体戦ベスト8（5位入賞）という成果を出し、それを契機に、指導者と選手の意識が全国の頂上を見据え出したように感じている。そのような意識の向上はプラス展望であるが、懸念されるのは本競技に取り組む学校数の問題である。高体連団体登録数はここ数年男女ともに20校前後で推移している。九州圏内では、沖縄と佐賀が同様な状況である。中学から高校に入学する時点での競技離れが特に女子で著しい。今後、新たな新規登録校を望むのは難しいので、既存校における部存続と活性化に努めてもらうしかないと考えている。そのためには、まずは顧問の確保。技術的な指導ができる顧問の増員は、現実的に不可能であるから、本競技に興味・関心を持ってくれる人材の確保しかないと考えている。そのためには、各校で顧問に就任してくれた方にいかに継続して顧問を続けてもらうか。そこで考えたのが、大会運営に関わってもらうこと。一先年度から、県総体と新人大会の当日の運営に参加校の全顧問に携わってもらうことにした。グループ分けし、時間を決めてローテーションで進行・記録等をやってもらっている。今までは、大会役員が大会のすべての業務をこなし、他の一般の顧問は当然負けたら会場を後にするというパターンだったが。このシステムの導入・実施によって、すべての顧問の先生方に少し意識の変化が見受けられ、その結果、大会運営に自分のローテーション外でも進んで加わってくれる方も現れたのはそういう成果であり、喜ばしい限りである。さらにこの点に関しては創意工夫努力を継続していきたい。お陰様で平成24年度の行事も無事終了した。いよいよ平成25年度は約50年ぶりの地元開催のインターハイ。専門部で全力を挙げて邁進するのみである。

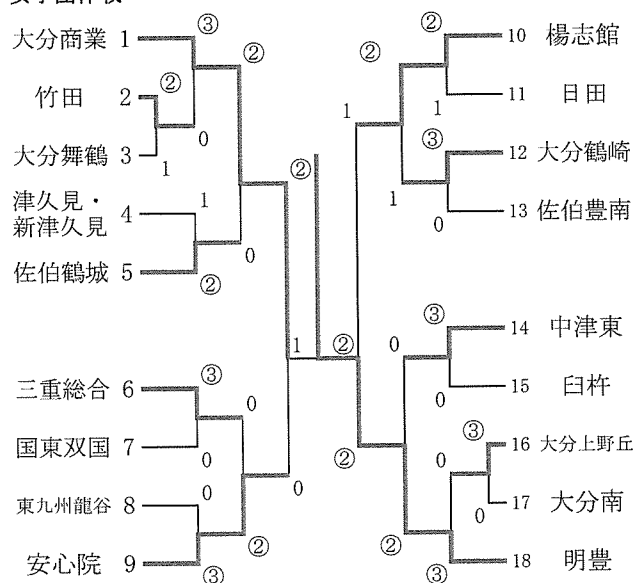
第60回大分県高等学校総合体育大会 ソフトテニス競技

平成24年6月2日 だいぎんテニスコート

男子団体戦



女子団体戦



決勝戦 1 大分商業高校 1 - ② 明豊高校 18

- (1) 菅本朱莉・佐藤有紀 ④ - 1 戸高有加利・煤田優希
 (2) 児玉真樹・後藤碧衣 3 - ④ 江村由佳・真島由衣
 (3) 川野美咲・姫島有貴 1 - ④ 真島史歩・橋本明日香

決勝戦 1 中津東高校 ② - 0 大分商業高校 12

- (1) 広光謙太・永松睦貴 ④ - 3 高橋佑輔・中山大地
 (2) 湊孝一・加藤達喜 ④ - 3 松久銀河・上野啓介
 (3) 高堂透・柳井俊輝 ① - 後藤大剛・後藤大晃

※ 1位が全国大会、2位までが九州大会に出場

個人戦ベスト8以上

男子 BEST

No. 1 中津東) 広光 謙太	・ 永松 睦貴	④ - 1 No. 28 大分南) 松久 銀河	・ 姫野 海里
No. 56 大分商) 後藤 大剛	・ 後藤 大晃	④ - 1 No. 97 臼杵) 遠藤 啓	・ 岡部 宏紀
No. 111 楊志館) 甲斐匠太朗	・ 工藤 洗弥	④ - 2 No. 138 中津東) 高堂 透	・ 柳井 俊輝
No. 193 大分商) 高橋 祐輔	・ 上野 啓介	④ - 2 No. 220 臼杵) 竹内 貴政	・ 高橋 凌

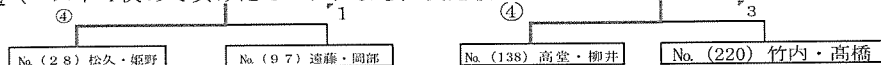
BEST 4

No. 1 中津東) 広光 謙太	・ 永松 睦貴	④ - 0 No. 56 大分商) 後藤 大剛	・ 後藤 大晃
No. 111 楊志館) 甲斐匠太朗	・ 工藤 洗弥	④ - 2 No. 193 大分商) 高橋 祐輔	・ 上野 啓介

FINAL

No. 1 中津東) 広光 謙太	・ 永松 睦貴	④ - 1 No. 111 楊志館) 甲斐匠太朗	・ 工藤 洗弥
-------------------	---------	---------------------------	---------

5・6位決定戦 (ベスト4決めで負けた4ペアによる) 決定戦



女子 BEST

No. 13 明豊) 小玉 朱里	・ 芦刈 杏実	3 - ④ No. 25 明豊) 真島 史歩	・ 煤田 優希
No. 26 大分商業) 後藤 杏奈	・ 室 彩音	1 - ④ No. 39 明豊) 江村 由佳	・ 真島 由衣
No. 52 大分商業) 児玉 真樹	・ 後藤 碧衣	④ - 2 No. 76 大分商業) 岩尾 朱夏	・ 岩崎 有稀
No. 88 大分商業) 伊藤 幸子	・ 井 結花	0 - ④ No. 101 明豊) 戸高有加利	・ 橋本明日香

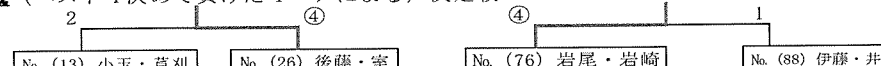
BEST 4

No. 25 明豊) 真島 史歩	・ 煤田 優希	2 - ④ No. 39 明豊) 江村 由佳	・ 真島 由衣
No. 52 大分商業) 児玉 真樹	・ 後藤 碧衣	2 - ④ No. 101 明豊) 戸高有加利	・ 橋本明日香

FINAL

No. 39 明豊) 江村 由佳	・ 真島 由衣	2 - ④ No. 101 明豊) 戸高有加利	・ 橋本明日香
-------------------	---------	--------------------------	---------

5・6位決定戦 (ベスト4決めで負けた4ペアによる) 決定戦



※ 1位～6位ペアには、インターハイ・九州大会、7・8位のペアには九州大会の出場権を与える。

男子個人 (1)

1 広光・永松	(中津東)	(4)	(4)	松久・姫野	(大分商業)	28
2 工藤倫・小野	(大分舞鶴)	0		義之・野田	(楊志館)	29
3 梶原祐・魚返	(日田林工)	(4)	0	甲斐・井上	(大分上野丘)	30
4 中山・植田	(東九州龍谷)	(4)	0	渡邊・廣瀬	(竹田)	31
5 川元・森崎	(津久見・新津久見)	1		榎本・深野	(中津東)	32
6 高橋航・森	(鶴崎工業)	1	0	牧・浮木	(大分舞鶴)	33
7 秋永・植田	(大分高専)	(4)	(4)	椋田・弓田	(東九州龍谷)	34
8 川野翔・緒方	(楊志館)	(4)	1	諫山・梶原脩	(日田林工)	35
9 薬師寺・池邊	(大分豊府)	(4)	0	郡安・和田	(大分)	36
10 深田・高橋	(三重総合)	1	2	甲斐・河野	(大分南)	37
11 首藤・榎	(大分南)	2	1	吉野・羽田	(大分豊府)	38
12 小野・吉良	(大分上野丘)	(4)		濱本・阿部	(鶴崎工業)	39
13 土谷・波多江	(大分商業)	(4)	(4)	津久美・宮村	(臼杵)	40
14 阿部・久野	(臼杵)	(4)	(4)	内田・清水	(佐伯鶴城)	41
15 吉田・成迫	(佐伯鶴岡)	(4)	1	秋月・嶋	(大分高専)	42
16 大平・滝口	(大分南)	1	1	河野・萱嶋	(大分商業)	43
17 江藤・栗林	(安心院)	(4)	0	武富・大塚	(大分豊府)	44
18 高原・小野	(佐伯豊南)	0	0	是永・佐藤文	(臼杵)	45
19 佐藤博・森	(大分舞鶴)	1	0	佐々木・徳永	(佐伯豊南)	46
20 朝山・黒木	(大分工業)	(4)	(4)	浅尾・安邊	(大分舞鶴)	47
21 瀬口・生野	(大分上野丘)	(4)	1	土谷・加藤	(中津東)	48
22 河浦・渋谷	(鶴崎工業)	1	2	藤田・櫻木	(日田)	49
23 伊藤・足達	(日田林工)	3		吉村流・門脇	(安心院)	50
24 菅山・八坂	(大分)	(4)	1	宿名・吉岡	(大分工業)	51
25 衛藤・藤原	(竹田)	2	(4)	宮崎・稲森	(大分上野丘)	52
26 中島・久恒	(日田)	(4)		小野・佐藤	(大分)	53
27 村上・仲尾	(楊志館)	(4)	(4)	小野・狹間	(大分舞鶴)	54

男子個人 (2)

56 後藤剛・後藤晃	(大分商業)	(4)	(4)	仲野・十時	(大分商業)	84
57 高崎・渡辺	(臼杵)	3		川越・上野	(大分高専)	85
58 秋澤・吉良山	(竹田)	(4)	0	梶原・多賀	(大分豊府)	86
59 高橋・工藤史	(大分舞鶴)	0	1	平川・堀	(日田)	87
60 出田・佐藤宏	(鶴崎工業)	(4)	0	須崎・上野	(楊志館)	88
61 福田・山田	(津久見・新津久見)	0	0	副島・佐藤英	(大分上野丘)	89
62 坂東政・三浦	(佐伯鶴岡)	(4)	(4)	持山・末永	(中津東)	90
63 山野・鷺尾	(大分上野丘)	(4)	(4)	山野内・山内	(佐伯鶴岡)	91
64 倉堀・松尾	(大分)	0	1	阿部蓮・櫻井	(鶴崎工業)	92
65 手嶋・小関	(日田)	(4)	0	土屋・中原	(東九州龍谷)	93
66 菊川・吉村	(大分工業)	1	0	辻・深水	(大分工業)	94
67 滋野・村上拓	(大分豊府)	(4)	2	真砂・中尾峻	(安心院)	95
68 長光・古城	(楊志館)	2	0	金崎・廣田	(大分舞鶴)	96
69 本間・石田	(中津東)	(4)	(4)	遠藤・岡部	(臼杵)	97
70 中園・前田	(竹田)	(4)	(4)	稗田・原田	(大分)	98
71 森・尾上	(佐伯鶴城)	(4)	0	武内・長尾拓	(日田)	99
72 中上・江藤	(大分高専)	2	3	松崎・久保	(中津東)	100
73 高次・三浦	(佐伯豊南)	2	(4)	田中・末	(日田林工)	101
74 馬見塚・安東	(大分舞鶴)	(4)	2	中谷・中川	(大分高専)	102
75 森岡・村上	(大分南)	(4)	0	葛城・黒瀬	(大分上野丘)	103
76 伊藤・三浦	(三重総合)	1	0	草野・和田	(大分南)	104
77 市原・工藤	(大分)	0	1	鳥羽・佐藤	(国東双国)	105
78 姫野・狹間	(鶴崎工業)	(4)	0	橋本・柳井	(津久見・新津久見)	106
79 児島・末永	(大分上野丘)	(4)	(4)	高原・二宮	(大分舞鶴)	107
80 三丸・桑原	(大分工業)	R	1	徳浦・阿部	(大分商業)	108
81 佐藤・仁田野	(日田林工)	1	(4)	柳井・穂下	(佐伯豊南)	109
82 篠田・佐藤直	(臼杵)	(4)	(4)	土谷・佐藤公	(楊志館)	110
83 中原・池永	(大分豊府)	(4)	(4)			

男子個人 (3)

111 甲斐・工藤 (楊志館) 112 矢野・久枝 (鶴崎工業) 113 堤・後藤 (大分工業) 114 新納・森山 (大分高専) 115 志賀・佐藤 (竹田) 116 姫野・足立 (臼杵) 117 坂本・田中 (日田) 118 佐藤・濱本 (大分商業) 119 後藤・下川 (佐伯豊南) 120 阿南・高野 (津久見・新津久見) 121 榎本・細水 (大分) 122 岡部・田代 (大分舞鶴) 123 江本・奈須 (大分上野丘) 124 後藤・衛藤 (大分南) 125 高橋・是本 (東九州龍谷) 126 柿本・辛嶋 (日田林工) 127 木村・上田 (大分上野丘) 128 工藤・高木 (鶴崎工業) 129 松田・伊藤 (大分) 130 今留・西村 (大分高専) 131 首藤・金田 (大分豊府) 132 井芹・野澤 (三重総合) 133 源・甲斐健 (大分舞鶴) 134 安心院・長尾恭 (日田) 135 吉武・太田 (大分工業) 136 安田・神 (中津東) 137 渡辺・津田 (大分商業)

高堂・柳井 (中津東) 138 今泉・保月 (大分南) 139 立麻・今村 (大分商業) 140 小池・井上 (楊志館) 141 堀・梅江 (日田林工) 142 黒川・森崎 (佐伯鶴城) 143 山上・高倉 (大分上野丘) 144 迫・小川 (佐伯豊南) 145 神邊・岩尾 (臼杵) 146 佐藤・橋本 (日田) 147 秀嶋・佐藤 (大分豊府) 148 岡田・橋内 (大分上野丘) 149 高橋達・永具 (鶴崎工業) 150 河野・藤澤 (大分舞鶴) 151 中村・茂里 (佐伯鶴岡) 152 藤田・友松 (中津東) 153 平山・波多野 (大分) 154 富田・山内 (大分高専) 155 久留島・山崎 (臼杵) 156 佐藤玄・甲斐慎 (大分舞鶴) 157 川野竜・佐藤友 (楊志館) 158 園田・池見 (大分上野丘) 159 後藤・増永 (竹田) 160 梨子木・赤尾 (日田林工) 161 吉村滉・中尾省 (安心院) 162 小石川・福田 (大分豊府) 163 大戸・森脇 (津久見・新津久見) 164 中山・田ノ平 (大分商業) 165

男子個人 (4)

[illegible]

女子 (1)

1 菅本・佐藤	(大分商業)	(4)	(4)	後藤杏・室	(大分商業)	26
2 葛城・溜島	(大分上野丘)	(4)	0	2 志賀・平本	(国東)	27
3 馬場・沖野	(臼杵)	3	1	0 黒永・末森	(東九州龍谷)	28
4 阿部・板屋	(大分南)	1	1	(4) 甲能・財津	(日田)	29
5 江藤・宗	(津久見・新津久見)	(4)	0	0 坂本・古手川	(大分鶴崎)	30
6 伊藤・永田	(安心院)	1	0	2 田吹・佐藤	(岩田)	31
7 今川・植弘	(中津東)	(4)	3	1 池田・日高聖	(佐伯鶴城)	32
8 塚崎・青木	(大分鶴崎)	(4)	1	(4) 吉田・後藤	(三重総合)	33
9 柳澤・山崎	(大分舞鶴)	0	0	1 廣池・金田	(大分舞鶴)	34
10 本田・山田	(佐伯鶴岡)	R	(4)	0 朝生・藤原	(臼杵)	35
11 加藤・多田	(三重総合)	(4)	0	1 福山・渡邊	(大分上野丘)	36
12 岩崎・成松	(佐伯豊南)	2	2	3 藤丸・前田	(津久見・新津久見)	37
13 小玉・芦刈	(明豊)	(4)	(4)	3 筒井・佐矢	(安心院)	38
14 松本・高橋	(楊志館)	(4)	(4)	(4) 江村・真島由	(明豊)	39
15 橋口・今村	(日田)	3	0	3 田中・成松	(佐伯鶴城)	40
16 上堀・末	(東九州龍谷)	(4)	3	0 横山・黒田	(竹田)	41
17 江口・小幡	(中津東)	(4)	0	(4) 神品・甲斐	(臼杵)	42
18 橋本・森崎	(佐伯鶴城)	0	0	2 川原田・村山	(国東双国)	43
19 山下・日野	(大分商業)	2	(4)	1 遠藤・小島	(大分商業)	44
20 三浦・佐伯	(竹田)	(4)	0	(4) 松永・鬼田	(中津東)	45
21 大鶴・大津	(大分上野丘)	1	3	(4) 1 姫野・田中	(大分高専)	46
22 小原・菊川	(大分舞鶴)	(4)	(4)	(4) 河越・安藤	(楊志館)	47
23 高橋・小野華	(佐伯豊南)	(4)	0	0 宇都宮・薬師寺	(津久見・新津久見)	48
24 鯉越・田村	(大分南)	0	0	1 山下・阿部	(大分南)	49
25 真島史・煤田	(明豊)	(4)	(4)	0 阿部・西詰	(佐伯豊南)	50
				3 川野・姫島	(大分商業)	51

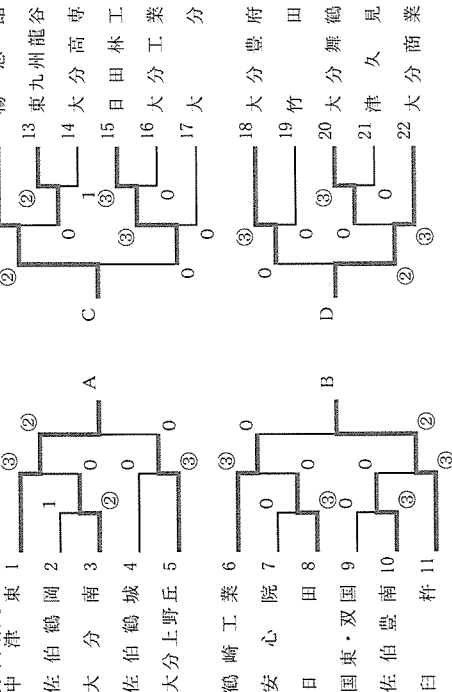
女子 (2)

52 児玉・後藤碧	(大分商業)	(4)	(4)	高木・後藤	(楊志館)	77
53 宮邊・尾上	(大分舞鶴)	1	0	1 廣瀬・寺尾	(佐伯豊南)	78
54 黒田・安藤	(津久見・新津久見)	(4)	(4)	3 四ッ谷・森本	(大分上野丘)	79
55 大海・野口	(国東双国)	(4)	0	(4) 岩野・尾倉	(明豊)	80
56 野田・高橋	(大分上野丘)	1	0	0 寺田・関	(竹田)	81
57 首藤・西田	(佐伯鶴城)	1	0	1 高野・湯丸	(佐伯鶴城)	82
58 高司・小野渚	(佐伯豊南)	(4)	(4)	0 神志那・大津	(三重総合)	83
59 川端・伊東	(大分商業)	(4)	2	2 渡邊・白石	(臼杵)	84
60 熊井・小野	(日田)	0	0	0 迫・安達	(佐伯鶴岡)	85
61 坂中・溝口	(竹田)	(4)	0	0 幸・大塚	(大分南)	86
62 吉田・森	(大分南)	(4)	0	0 石川・中尾	(安心院)	87
63 三重野・渡邊	(大分鶴崎)	2	2	(4) 伊藤・井	(大分商業)	88
64 鶴・荒巻	(中津東)	(4)	(4)	(4) 伊東由・伊東華	(大分鶴崎)	89
65 日高紗・黒木	(佐伯鶴城)	(4)	(4)	3 元浦・木下	(国東双国)	90
66 西川・徳丸	(大分南)	1	0	0 木崎・井上	(東九州龍谷)	91
67 中城・阿南	(三重総合)	(4)	0	(4) 片岡・宮子	(臼杵)	92
68 酒井・田中	(中津東)	1	2	0 田中・小椋	(大分上野丘)	93
69 野上・田口	(臼杵)	(4)	0	1 加来・御幡優	(安心院)	94
70 加藤・御幡真	(安心院)	(4)	0	(4) 都甲・御幡	(中津東)	95
71 平峰・佐藤	(大分舞鶴)	1	0	0 小出・望月	(大分南)	96
72 藤家・今吉	(明豊)	(4)	(4)	R 大塚・二宮	(三重総合)	97
73 矢野・山村	(岩田)	0	(4)	0 和田・岡森	(津久見・新津久見)	98
74 姫野・金丸	(大分鶴崎)	(4)	0	0 坂本・野上	(日田)	99
75 石原・高倉	(日田)	0	0	(4) 清水・廣瀬	(大分商業)	100
76 岩尾・岩崎	(大分商業)	(4)	(4)	(4) 戸高・橋本	(明豊)	101

平成24年度大分県高等学校新人ソフトテニス競技大会

平成24年10月27日 だいぎんテニスコート

男子団体戦

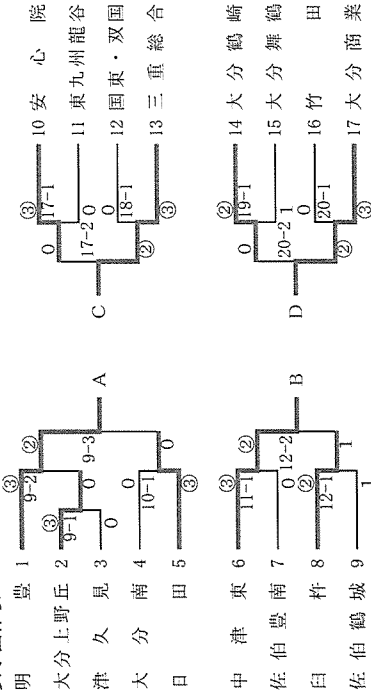


【優勝】

決勝リーグ	A	B	C	D	勝-敗	順位
A 中津東	③	1	②	2	2-1	2
B 白杵	0	0	0	3	0-3	4
C 楊志館	②	③	1	1	3-0	1
D 大分商業	1	③	1	2	1-2	3

※ 2位までが九州高校新人大会（沖縄県）への出場権を獲得

女子団体戦

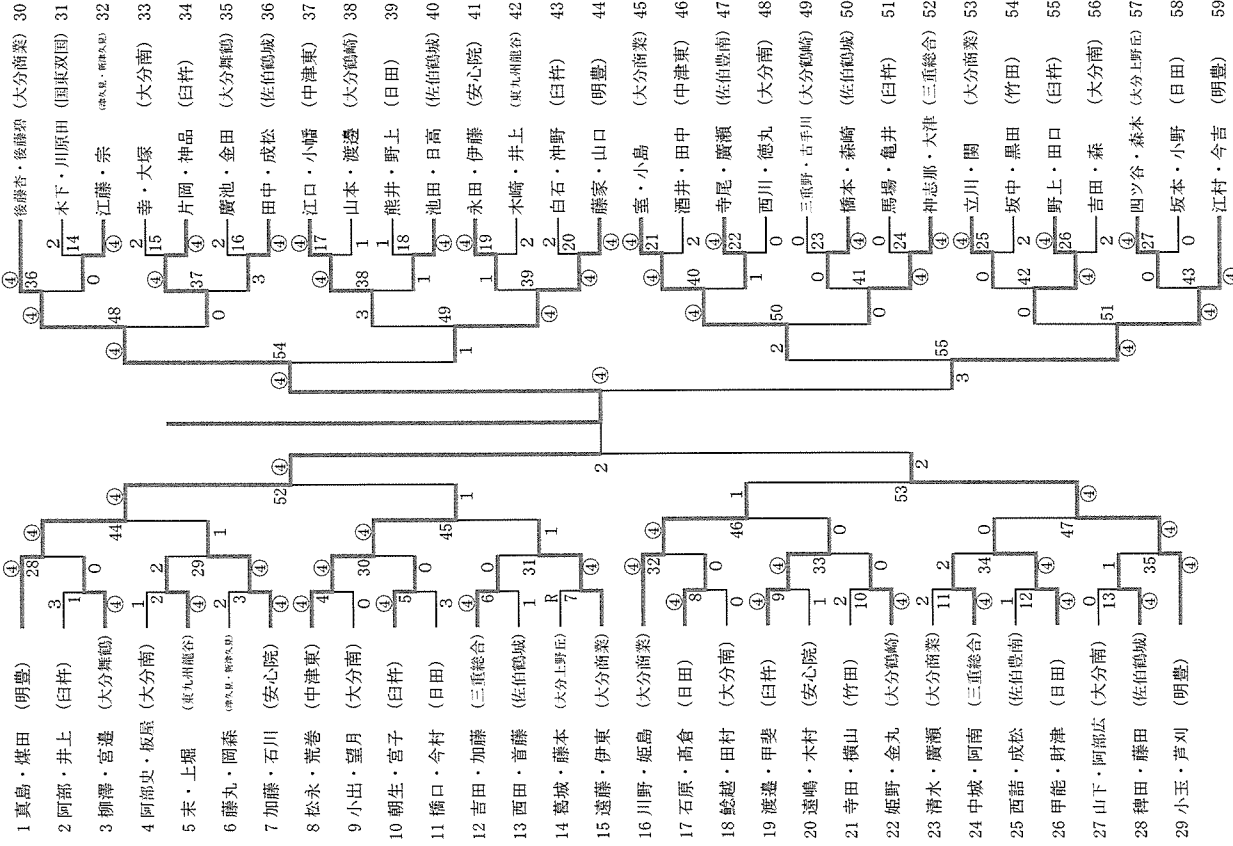


【優勝】

決勝リーグ	A	B	C	D	勝-敗	順位
A 明豊	③	③	3	0	1	1
B 中津東	0	1	0	0	3	4
C 三重総合	0	2	0	1	2	3
D 大分商業	0	③	③	2	1	2

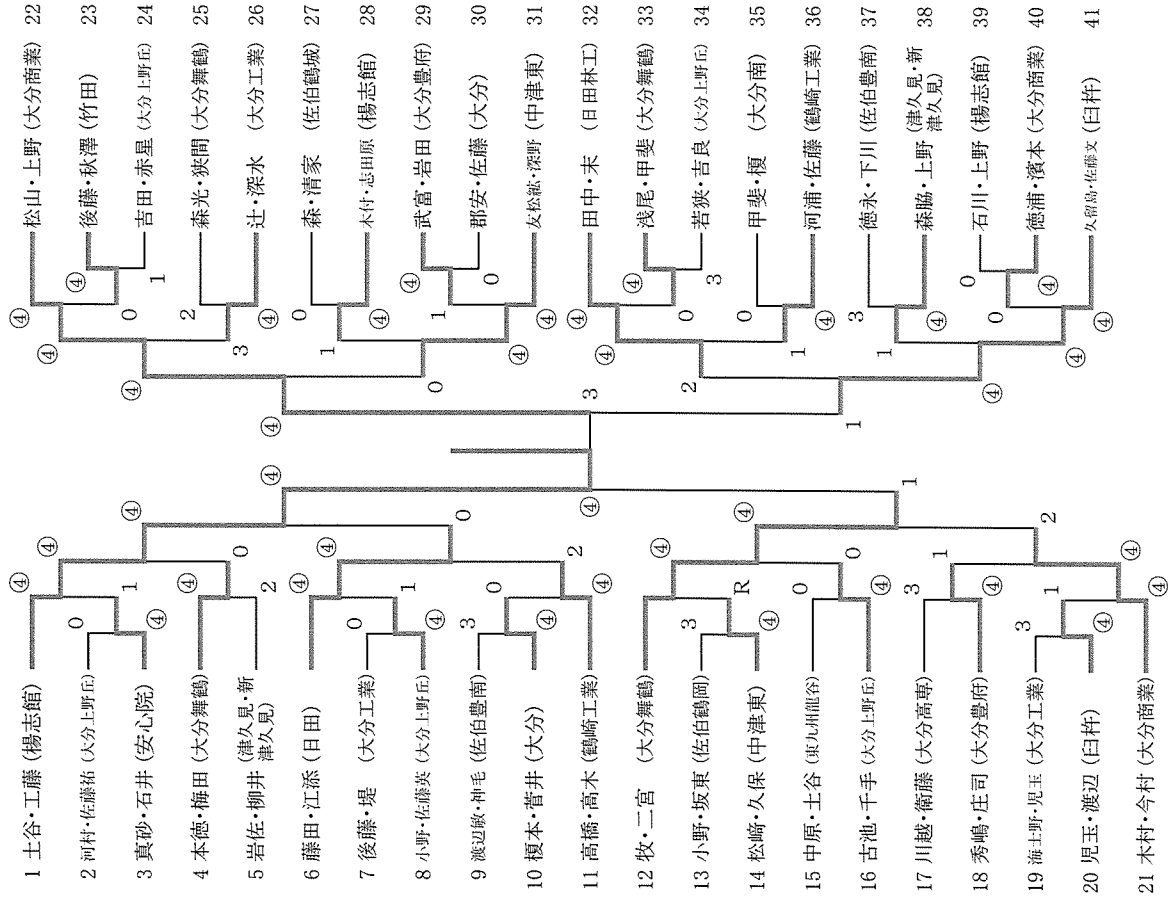
※ 2位までが九州高校新人大会（沖縄県）への出場権を獲得

女子個人戦



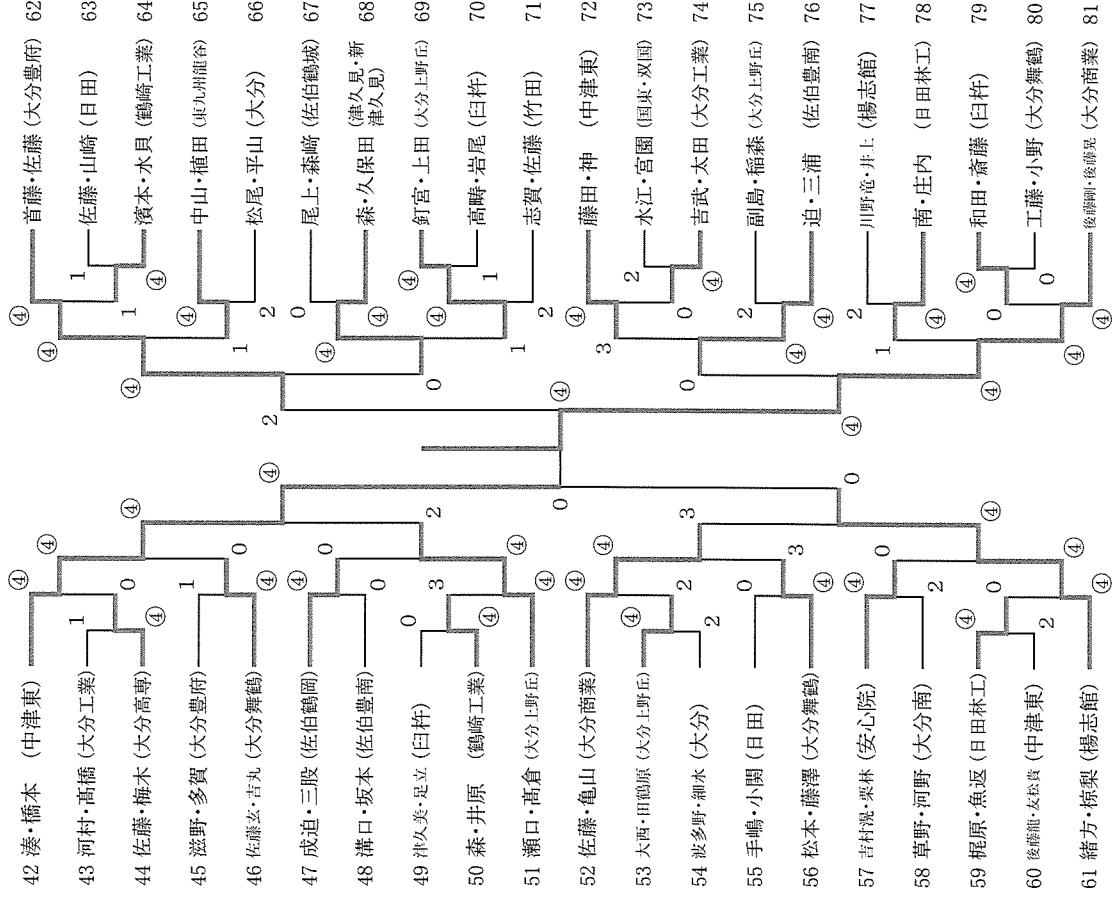
平成24年度大分県高等学校新人大会
平成24年10月28日
だいぎんデニスコート

男子 (1)



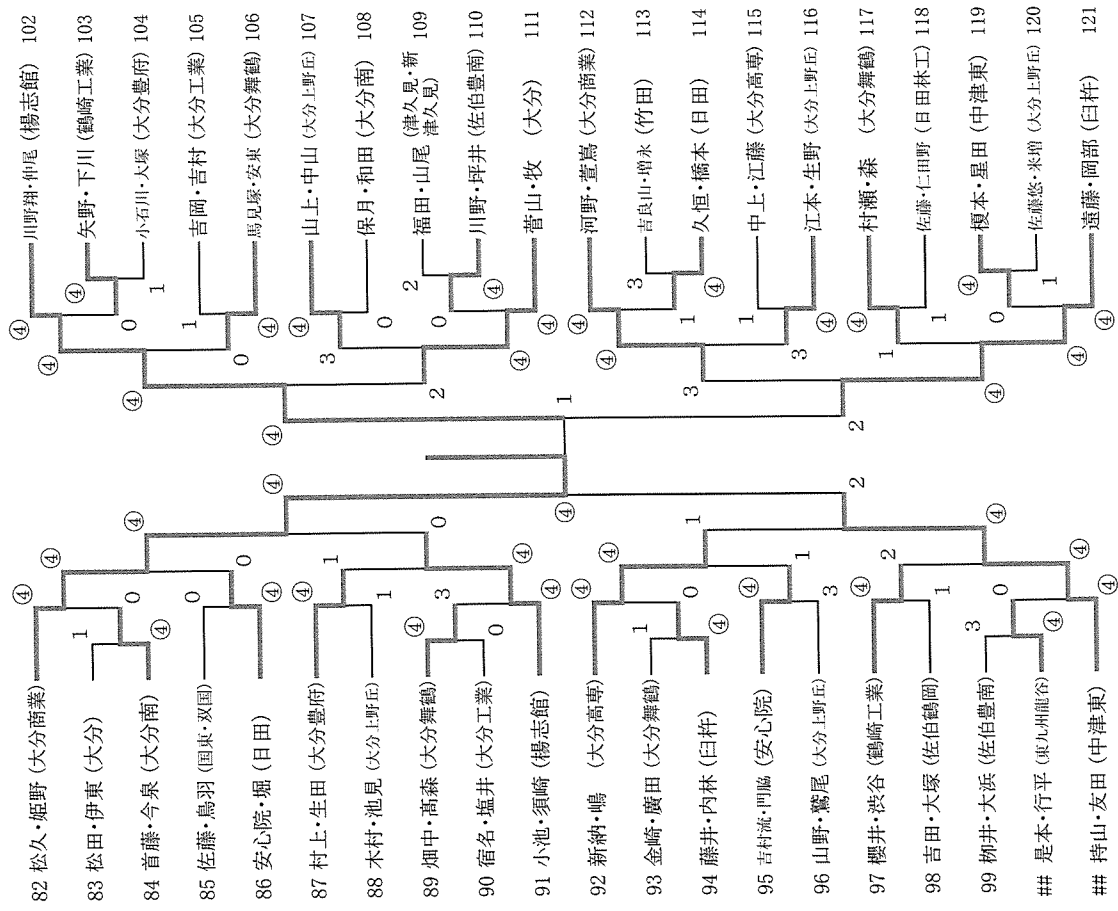
平成24年度大分県高等学校新人大会
平成24年10月28日
だいぎんデニスコート

男子 (2)



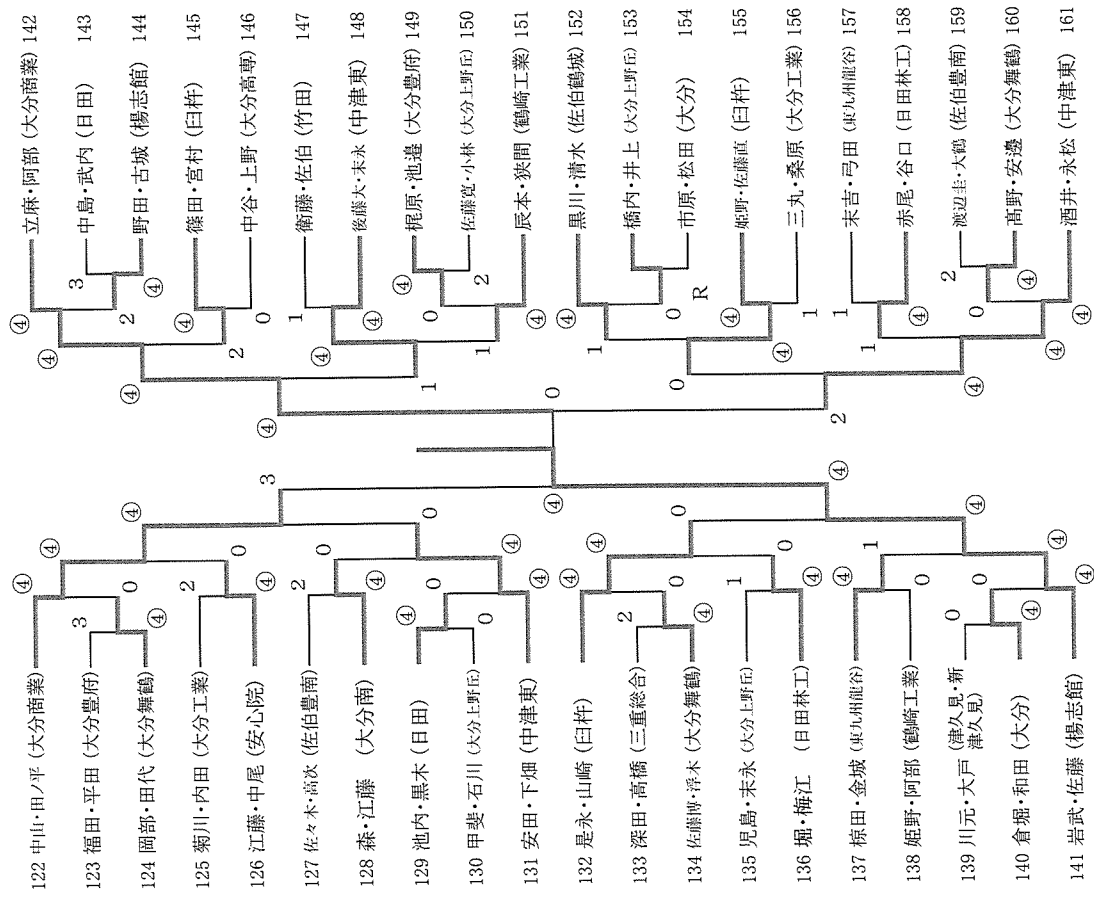
平成24年度大分県高等学校新人大会
平成24年10月28日
だいぎんデニスコート

男子 (3)



平成24年度大分県高等学校新人大会
平成24年10月28日
だいぎんデニスコート

男子 (4)



8. ハンドボール

(1) 役 員

専 門 部 部 長 廣 田 陽 一 大 分 東 高 等 学 校

専 門 部 委 員 長 島 村 浩 信 大 分 東 高 等 学 校

専 門 部 副 委 員 長

支部役員

大 分 支 部 平 井 徳 尚 大 分 雄 城 台 高 等 学 校

別 速 杵 国 東 支 部

県 北 久 大 支 部

県 南 豊 肥 支 部



部 長 廣 田 陽 一



委 員 長 島 村 浩 信

(2) 所 感

本年度、県内の大会を振り返ってみると、県高校総体では男子、大分雄城台高校が3年連続5回目の優勝。女子は創部2年目の大分高校が初優勝。新人大会は九州高校選抜大会兼全国高校選抜九州地区予選会の出場権をかけて実施している。今年度は協会主催の秋季大会により、新人大会のシードを決定し実施した。

男子は安定した力を発揮した大分雄城台高校が第1代表に、創部2年目の大分高校が第2代表。女子は県総体を制した大分高校が第1代表に、チーム力で勝ち抜いた大分鶴崎高校が第2代表となり九州高校選抜大会の出場権を獲得した。

大分雄城台高校は2年連続6回目の優勝。大分高校は初優勝。

県外大会をみてみると、平成23年度全国高校選抜大会（岩手県）に男子、大分雄城台高校が出場し優勝した北陸高校に惜敗しベスト8であった。

平成24年度全国高等学校総合体育大会では男子、大分雄城台高校、女子、大分高校が出場。大分雄城台高校は桃山学院高校に敗れベスト8。大分高校は2回戦で優勝した高松商業に敗れた。

平成24年度全九州高等学校体育大会では男子、大分雄城台高校と大分国際情報高校、女子、大分高校と大分鶴崎高校が出場した。大分雄城台高校が健闘したが惜しくも第3位。

国体関係では、九州ブロック国体で少年女子が優勝、少年男子は準優勝で岐阜国体への出場権を獲得した。

岐阜国体では少年女子が東京都に1回戦で敗退したが、少年男子は準決勝で岐阜に敗れたが、3位決定戦で宮崎県を破り見事に3位入賞をはたした。

専門部の問題点として、加盟校数及び部員数の減少があげられる。それに伴い競技力の低下が危ぐされる。指導者の育成、ハンドボール人口の拡大、活動環境の整備等、大分県ハンドボール協会や各種別関係者の協力により、競技力の向上と普及に努めていきたい。

今年度も多くの方々にご支援をいただき、無事に活動ができたことに感謝し今後ともご支援・ご協力いただきますようよろしくお願いします。

第60回大分県高等学校総合体育大会ハンドボール競技

女子

予選リーグa	大分鶴崎	大分舞鶴	情報科学	勝点	得点	失点	差	順位
大分鶴崎		22 - 2 39 17 - 3 5	9 - 10 16 9 - 6	4	57	21	36	1
大分舞鶴	5 2 - 22 3 - 17 39		3 - 18 34 2 - 16	0	10	73	-63	3
情報科学	16 10 - 9 6 - 9 18	34 18 - 3 16 - 2 5		2	50	23	27	2
予選リーグb	大分	大分雄城台	大分東	勝点	得点	失点	差	順位
大分		17 - 1 33 16 - 4 5	16 - 3 7 20 - 4	4	69	12	57	1
大分雄城台	5 1 - 17 4 - 16 33		6 - 13 28 5 - 15	0	16	61	-45	3
大分東	7 3 - 16 4 - 20 36	28 13 - 6 15 - 5 11		2	35	47	-12	2

決勝トーナメント

準決勝	大分鶴崎	45 25 - 2 20 - 9 11	大分東
準決勝	大分	24 12 - 6 12 - 12 18	情報科学
決勝	大分鶴崎	16 9 - 10 7 - 13 23	大分

女子 第1位 大分高校 初優勝
第2位 県立大分鶴崎高校
第3位 県立大分東高校
第3位 県立情報科学高校

男子

予選リーグA	大分雄城台	鶴崎工業	国際情報	勝点	得点	失点	差	順位
大分雄城台		24 - 3 45 21 - 4 7	16 - 5 19 14 - 14	4	75	26	49	1
鶴崎工業	7 3 - 24 4 - 21 45		9 - 19 37 4 - 18	0	20	82	-62	3
国際情報	19 5 - 16 14 - 14 30	37 19 - 9 18 - 4 13		2	56	43	13	2
予選リーグB	大分	情報科学	大分舞鶴	勝点	得点	失点	差	順位
大分		10 - 10 24 14 - 5 15	8 - 10 19 13 - 9	4	45	34	11	1
情報科学	15 10 - 10 5 - 14 24		5 - 11 24 7 - 13	0	27	48	-21	3
大分舞鶴	19 10 - 8 9 - 13 21	24 11 - 5 13 - 7 12		2	43	33	10	2

決勝トーナメント

準決勝	大分雄城台	47 22 - 7 25 - 12 19	大分舞鶴
準決勝	大分	24 11 - 11 8 - 8 27	国際情報
決勝	大分雄城台	37 21 - 8 16 - 13 21	国際情報

男子 第1位 県立大分雄城台高校 3年連続5回目
第2位 大分国際情報高校
第3位 県立大分舞鶴高校
第3位 大分高校

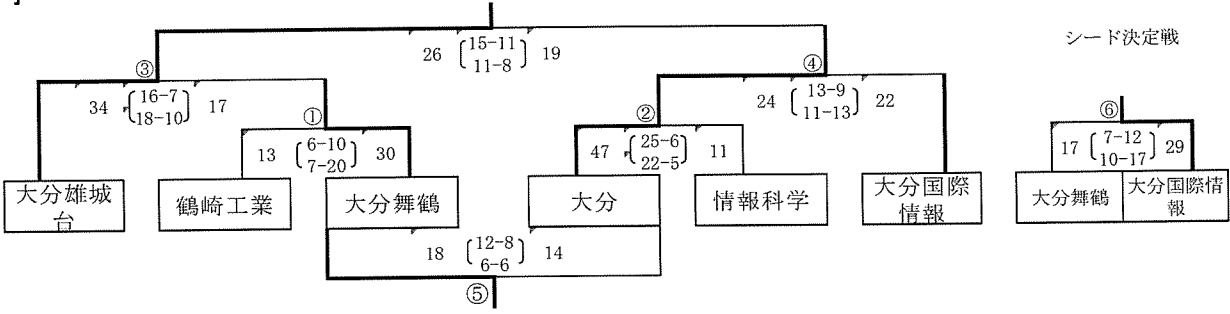
男女1位は全国大会（新潟県柏崎市他）、男女1位・2位は九州大会（宮崎県宮崎市）の出場権を獲得。第3位

平成24年度大分県高等学校新人ハンドボール競技大会 結果

男子

優勝：大分雄城台高校（2年連続6回目）

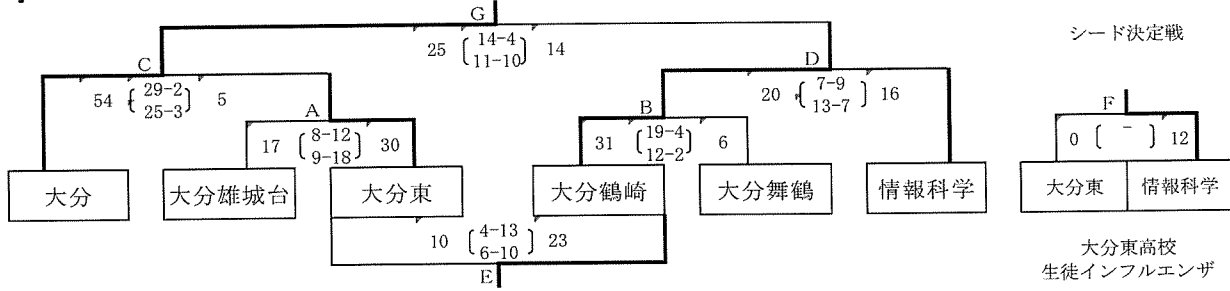
○トーナメント 30-10-30



女子

優勝：大分高校（初優勝）

○トーナメント 30-10-30



男女1位、2位は九州高校選抜大会（全国高校選抜大会九州地区予選会 25年2月宮崎市）の出場権を獲得

9. サ ッ カ ー

(1) 役 員

専門部部長	戸田 哲也	大分工業 高等学校
専門部委員長	友成 義朗	佐伯豊南 高等学校
専門部副委員長	西尾 秀一	大分工業 高等学校

支部役員

大分支部	西尾 秀一	大分工業 高等学校
別速杵国東支部	小屋 良樹	別府鶴見丘 高等学校
県北久大支部	松田 雄一	中津東 高等学校
〃	島畑 欣史	日 田 高等学校
県南豊肥支部	友成 義朗	佐伯豊南 高等学校



部 長 戸田 哲也



委員長 友成 義朗

(2) 所 感

平成24年度の各種大会・行事も2月の九州新人大会（長崎）で無事終了できました。これも、関係各位、とりわけ各大会の運営に携わっていただいた高校の先生方とサッカー部員のご援助・ご協力の賜と深く感謝しています。

さて、今年度の大分県高校サッカーを振り返ってみますと、既存の大会に加えてリーグ戦の導入により過密日程の中、指導者・選手も試合に追われる1年間だったと思います。6月の県高校総体では、大分高校と大分西高校との決勝戦となり、大分高校が（2－1）と粘る大分西高校を突き放して、2年連続9回目の優勝を飾りました。大分西高校も初めての決勝であったにも関わらず遜色のないゲーム展開を見せ、他のチームにも刺激となった大会でもありました。（5/19～6/4）

また、女子についても2チームの戦いではありましたが、柳ヶ浦高校が福德学院高校を圧倒し、5年連続5回目の九州大会出場を決めました。（5/19）

全九州大会は宮崎県で開催され、第1代表大分高校は1回戦で鹿児島県第2代表の神村学園高等部と対戦（1－2）、試合は延長までもつれ込む接戦となりましたが、最後には突き放されて惜敗。また、第2代表大分西高校は宮崎県第1代表日章学園高校と対戦（0－3）で敗退。なかなか力を出し切れないうまま終了した感じではありました。また、女子の柳ヶ浦高校は、佐賀県代表神埼高校と対戦し（4－0）で勝利、準決勝では優勝した鹿児島県代表神村学園高等部と対戦（0－4）で敗退しました。堂々の3位だったと思います。男女とも今後に向けて、課題がはっきり分る大会でもあったと思います。

（6/16～6/18）

大分高校の出場した全国高校総体では、1回戦兵庫県代表総合科学技術高校と対戦し（1－3）で敗退。お互いに相手の裏を取るスタイルでの攻防。一進一退が続くもサイド攻撃を徹底した相手が最後は振り切った試合でした。1年生の多い大分高校の今後の頑張りを期待したいものです。（7/29～8/4）

高校サッカーの最終目標である全国高校サッカー選手権大会大分県大会の決勝戦は、中津東高校と大分雄城台高校の対戦となりました。初出場の大分雄城台高校は多少の緊張もあったのか思い通りのサッカーが出来ず、逆に中津東高校は自分たちのサッカースタイルを貫くことが出来（4－0）で3年ぶり2回目の全国大会の切符を手に入れました。大分雄城台高校は最後まであきらめない戦いぶりを見せてくれました。（10/13～11/11）

年末から始まった全国高校サッカー選手権大会の中津東高校の２回戦の相手は、新潟県代表帝京長岡高校との対戦。代表選手やＪリーグに入団する選手がいる学校でした。中津東高校は、持ち前の堅守速攻をチームとして行ったものの、相手選手も同様なスタイルで切り返し、最後は個々のスキルの差が出て（０－３）で敗退しました。ただ、選手や役員も含めて大分県の代表として堂々の戦いぶりでした。今後の大分県が目指すサッカーを見せてくれました。（12/31～1/19）

年が明けて、県高校新人大会が行われました。決勝戦は前評判の高かった２チームとなり、大分西高校と柳ヶ浦高校との対戦となりました。ポゼッションで相手を崩す大分西高校とボールを前線へ早くフィードして相手陣地での攻防を行うスタイルの柳ヶ浦高校。お互いのサッカースタイルを激しくぶつけ合うすばらしい決勝戦でした。最後は大分西高校が粘る柳ヶ浦高校を（２－１）で下し、念願の初優勝を飾りました。（1/19～2/3）

第３４回九州高校（Ｕ－１７）サッカー大会は、４日間の日程で長崎県島原市で開催されました。第１代表の大分西高校は、予選リーグで佐賀商業高校（２－２）、宮崎工業高校（２－１）、長崎総合科学大学附属高校（２－１）の２勝１分の１位で決勝トーナメント進出。第２代表柳ヶ浦高校は、ルーテル学院高校（１－３）、鹿児島城西高校（０－５）、具志川高校（１－０）の１勝２敗で予選リーグ３位でした。

決勝トーナメントに進出した大分西高校は準々決勝で、１月の全国高校サッカー選手権大会で全国優勝した宮崎県代表の 鵬翔高校と対戦。激しいボールの奪い合いになりましたが（１－０）で接戦をものにしました。続く準決勝では、福岡県代表の九州国際大学附属高校と対戦、１日２試合の過酷日程、しかも怪我人も多くいる中での条件で（０－２）と敗退。しかし、最終日の３位決定戦では、雨が降る悪天候にも関わらず沖縄県代表那覇西高校と対戦。前半に奪った１点を最後まで 守り抜き（１－０）で勝利しました。初出場での３位は、これからの大分県に力をもらいました。また、大分西高校にも今後の大会でさらなる上位進出を目指して頑張ってもらいたいと思いました。（2/15～2/18）

今年も全国をリードするのは九州のチームであることは間違いないと思っています。大分県も九州の他県に遅れをとらないように、また、リードできるように各チームとも更なる努力をすることを期待しています。

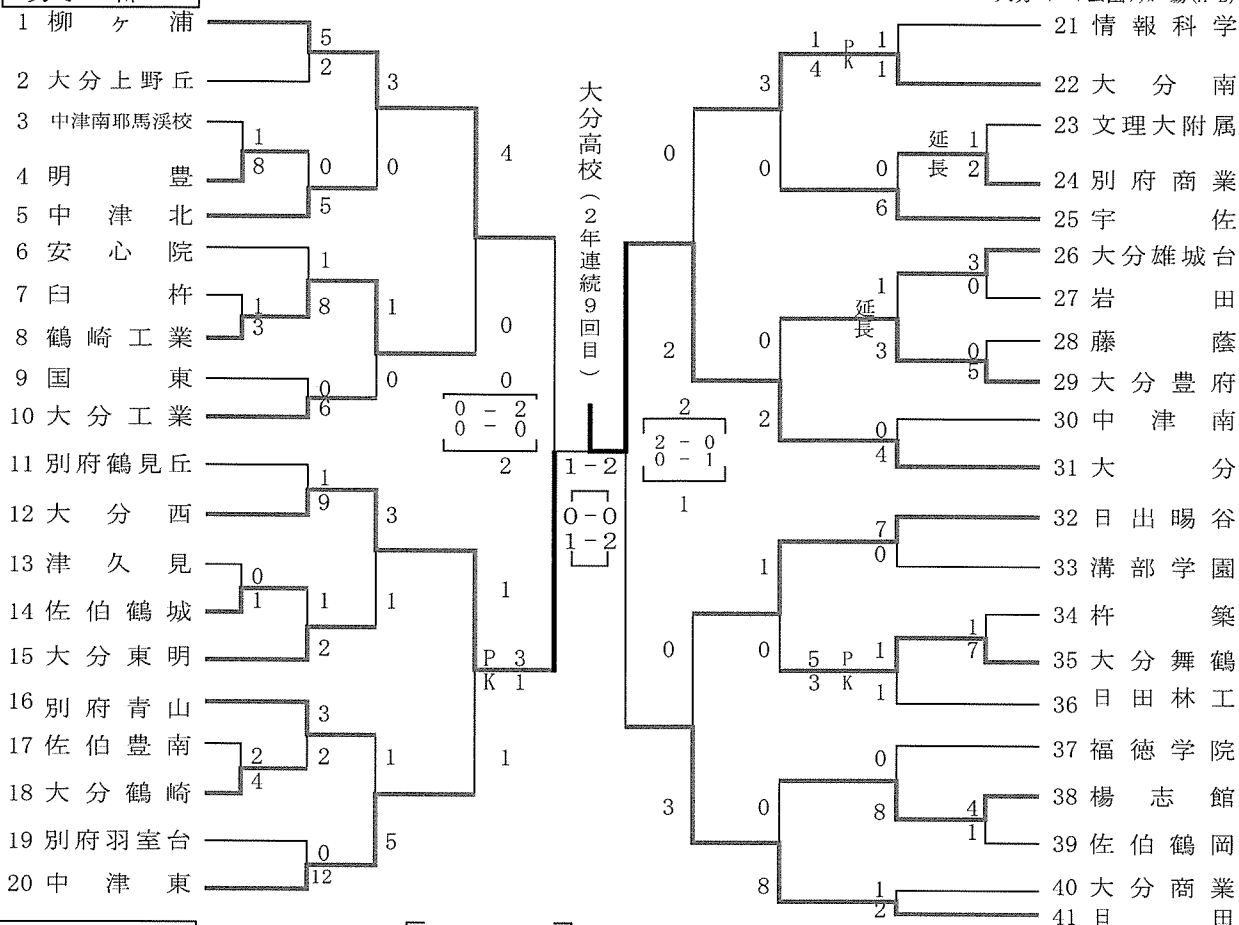
第60回大分県高等学校総合体育大会サッカー競技 (兼全国総体予選)

平成24年5月19日(土)～6月4日(月)

賀来第2グラウンド・杵築スポーツセンター・大分県サッカー協会人工芝・別府実相寺サッカー場

男子の部

・大分スポーツ公園サッカー場(A・B)

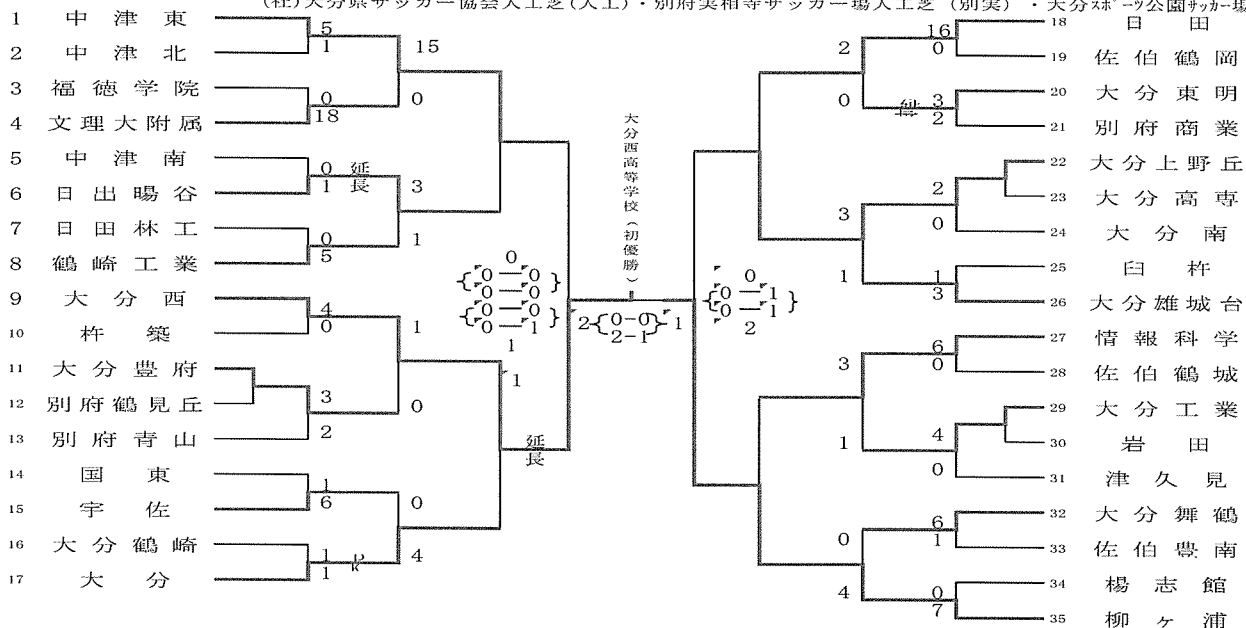


女子の部

平成24年5月19日(土) 11:00～
別府実相寺サッカー場(芝)

平成24年度大分県高等学校新人サッカー競技大会

平成25年1月19日(土)～2月3日(日) 於: 日出暘谷高校グラウンド・杵築スポーツセンター
(社)大分県サッカー協会人工芝(人工)・別府実相寺サッカー場人工芝(別実)・大分スポーツ公園サッカー場



10. ラグビーフットボール

(1) 役 員

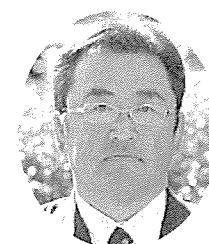
専門部部長	平田	浩司	大分舞鶴	高等学校
専門部委員長	安藤	和宏	大分舞鶴	高等学校
専門部副委員長	堤	荘司	大分雄城台	高等学校

支部役員

大分支部	堤	荘司	大分雄城台	高等学校
別速杵国東支部	中川	盛夫	別府鶴見丘	高等学校
県北九大支部	川端	隆裕	日田	高等学校
県南豊肥支部	後藤	哲也	日本文理大附属	高等学校



部 長 平田 浩司



委員長 安藤 和宏

(2) 所 感

平成24年度各種行事も無事終了することができました。これも、関係各位のご協力、ご支援のおかげと深く感謝いたします。

さて、本年度の各大会を振り返ってみると、高校県体の15人制は大分舞鶴が35年連続51回目の優勝を飾り、第2位は大分雄城台、第3位は日本文理大附属・大分東明でした。10人制は高田高校が優勝、第2位は昭和学園、第3位は大分商業でした。

続く九州大会は大分で開催され1位ブロックの大分舞鶴は一回戦、宮崎県代表・高鍋高校、準決勝で鹿児島県代表に勝利し決勝へ駒を進めた。しかし、決勝戦は台風が接近したため選手の安全面を考慮し中止。福岡県代表・東福岡高校と両校優勝となった。2位ブロックの大分雄城台は一回戦で佐賀県代表・鳥栖工業に勝利したものの準決勝では鹿児島県代表・鹿児島工業に惜敗し3位で大会を終了した。

全国大会予選では合同チームの参加で17校、14チームで熱戦が繰り広げられた。昨年度の会議で合同チームは試合の勝敗に関係なくベスト8への進出は認められないとした。今年は、日田・竹田、別府鶴見丘・津久見高校海洋科学学校、高田・大分商業が合同で出場した。

今年はどのチームも力が均衡し盛り上がりのある大会であった。合同チーム同士が一回戦を戦い日田・竹田、高田・大分商業がそれぞれ勝利し二回戦へ進出した。準決勝を勝ち上がった大分舞鶴、大分雄城台との決勝は大分スポーツ公園サッカーラグビー場で行われ昨年の接戦の再来を期待する多くのファンの観戦により大いに盛り上がった。強風の中でのキックオフとなったが大分舞鶴が開始早々トライ、リズムを掴みそのままのペースで試合が続くと思われたが大分雄城台が粘り前半は五分五分のゲームとなった。後半は力の差が出て終始大分舞鶴ペースで試合が続き最終的には36-7でノーサイド。大分舞鶴の27年連続51回目の花園、全国大会出場、と同時に大分雄城台への健闘を讃える拍手の渦が止むことなくふりそそがれた。

数えて92回を迎えた全国大会に参加する大分舞鶴は今年もノーシードからの出場となった。大会二日目に静岡県代表の東海大翔との対戦となった。前半は完全に大分舞鶴高校ペース。誰もが勝利を確信したが後半相手の猛反撃に遭い逆転されそのまま敗戦。2年連続一回戦で大阪花園を去ることになった。また、開会式直後に行われた女子の七人制ラグビーに森高校の重光選手が参加しグラウンドを走り回った。

新人大会は15人制に7校、10人制に10校・9チームが出場した。15人制は大分舞鶴が22年連続34回目の優勝、第2位は初めて決勝に駒を進めた大分東明、第3位は大分工業、大分雄城台でした。大分舞鶴、大分東明は沖縄県で開催される九州大会へ。10人制は森が優勝。第2位は昭和学園、第3位は日田。長崎県で開催される九州普及大会へ出場することになった。この大会では15人制への参加数が減少したので県体までには何とか15人制に参加できるように新入生獲得に努力、工夫をしていただきたい。

沖縄県で開催された九州新人大会は大分舞鶴は長崎県2位長崎北陽台、大分東明は佐賀県1位佐賀工業高校と対戦しましたが、それぞれ一回戦敗退。課題が多く残る大会となった。個人的には日本文理大学附属の具智元選手が高校日本代表に選出され海外遠征に参加することとなった。

第60回大分県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技

1戦5/20(日)2回戦5/27(日)・準決勝6/2(土)湯布院スポーツセンタ

15人制

決勝6/4(月)大分スポーツ公園

6月2日・湯布院スポーツセンター 6月4日・大分スポーツ公園

10人制	津久見海洋科学学校	昭和学園	大分商業	高 田	玖珠農業	勝敗	順位
津久見海洋科学学校		0-62	0-22	0-57	27-0	1-3	4
昭和学園	62-0		31-5	0-12	101-0	3-1	2
大分商業	22-0	5-31		0-27	53-0	2-2	3
高 田	57-0	12-0	27-0		43-0	4-0	1
玖珠農業	0-27	0-101	0-53	0-43		0-4	5

チームによるリーグ戦を実施 順位決定方法 1, 勝率
2, 勝率が同じ場合は当該校による勝敗
3, 1, 2が同じ場合は総トライ数

試合時間		対戦チーム		RE F	AR
1	0:00~10:2	津久見海洋科学学校	0 [0-14 0-48]	62 昭和学園	けんたい 家近 杉本
2	0:30~10:5	大分商業	0 [0-10 0-17]	27 高田	川野 中川 矢野
3	1:30~11:5	津久見海洋科学学校	27 [17-0 10-0]	0 玖珠農業	家近 中川 堀尾
4	2:00~12:2	昭和学園	31 [12-5 19-0]	5 大分商業	矢野 川野 家近
5	3:00~13:2	高田	43 [17-0 26-0]	0 玖珠農業	矢野 堀尾 杉本
6	3:30~13:5	津久見海洋科学学校	0 [0-12 0-10]	22 大分商業	中川 堀尾 杉本
7	4:30~14:5	昭和学園	0 [0-0 0-12]	12 高田	杉本 中川 堀尾
8	1:00~11:2	大分商業	53 [20-0 33-0]	0 玖珠農業	田崎 杉本 中川
9	1:30~11:5	津久見海洋科学学校	0 [0-31 0-26]	57 高田	川野 杉本 堀尾
10	2:30~12:5	昭和学園	101 [34-0 47-0]	0 玖珠農業	石吾 中川 堀尾

※合同チームはベスト8には進めない。(平成23年1月29日 監督会議)

平成24年度全国高等学校総合体育大会

第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会 大分県予選大会

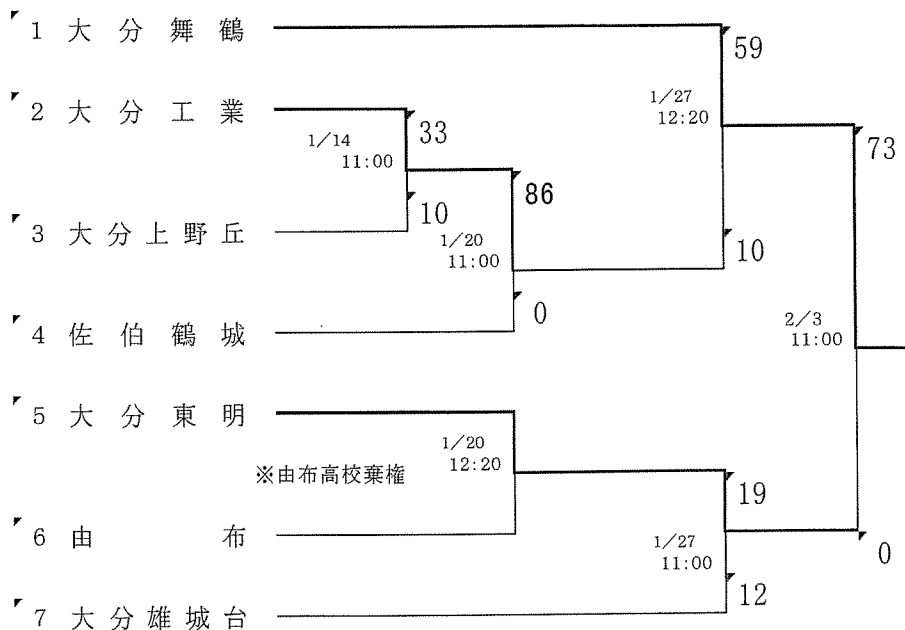
平成24年10/21・10/28・11/4・11/11・11/18:準決勝-駄の原 /決勝戦-大分スポーツ公園だいぎんサッカーグランドA

順位	学校名	人数
1	大分舞鶴	111
2	由布	36
3	佐伯鶴城	21
4	臼杵	12
5	高田・大商	37
6	大分工業	89
7	日本文理大附属	22
8	大分東明	69
9	大分上野丘	49
10	別府鶴見丘・津久見海洋科学学校	24
11	日田・竹田	36
12	森	77
13	昭和学園	5
14	大分雄城台	31

平成24年度 大分県高等学校新人ラグビーフットボール大会(15人制)

会場： 1・2回戦 大分市宮駄ノ原G 準決勝 大分スポーツ公園 決勝 大分スポーツ公園

日時： 1/14(月)20(日) 1/27(日) 2/3(日)



大分県高等学校新人ラグビーフットボール競技大会(10人制)

予選リーグ: 1月19日(土)・26日(土)・決勝トーナメント2月2日(土): 駄の原球技場

A パート	合 海 洋 ・ 大 商	同 海 洋 ・ 大 商	森	昭 和 学 園	竹 田	高 田	勝 敗
合 海 洋 ・ 大 商			0-64	12-33	22-7	24-7	2勝2敗
森	64-0			22-35	43-0	70-0	3勝1敗
昭 和 学 園	33-12	35-22			52-0	70-0	4勝
竹 田	7-22	0-43	0-52			10-5	1勝3敗
高 田	7-22	0-70	0-70	5-10			4敗

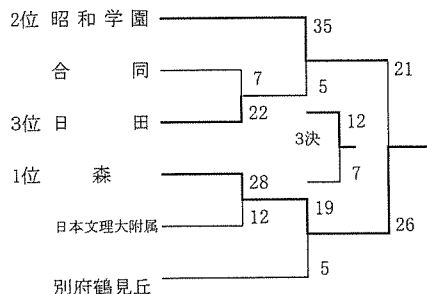
B パート	別 府 鶴 見 丘	日 田	日 本 文 理 大 附 属	白 杵	勝 敗
別 府 鶴 見 丘		24-12	17-17	26-5	1勝1分け
日 田	12-24		27-17	52-5	1勝1敗
日 本 文 理 大 附 属	17-17	17-27		17-5	1分け1敗
白 杵	5-26	5-52	5-17		

※ 白杵高校はインフルエンザのため棄権し、オープン参加扱い

大分県高等学校新人ラグビーフットボール大会(10人制 決勝トーナメント)

2/2 駄の原球技場

リーグ順位決定	
1	勝率
2	勝敗が同じ場合は当該校同士の勝ち負け
3	得トライ数
4	ゴール成功数
5	4まで同じ場合は抽選



11. ソフトボール

(1) 役 員

専門部部長 安部 真彦 大分南高等学校
専門部委員長 杉田 剛 大分東高等学校
専門部副委員長 矢野 由次 日田林工高等学校

支部役員

大分支部 杉田 剛 大分東高等学校
別速杵国東支部 田中 修二 日出暘谷高等学校
県北地区 金谷 昭二 中津南高等学校耶馬溪校
久大地区 齋藤 貴志 昭和学園高等学校
県南豊肥支部 濱口 亮 佐伯豊南高等学校



部 長 安部 真彦



委員長 杉田 剛

(2) 所 感

平成24年度のすべての大会を無事終了することができました。高体連事務局、ソフトボール協会をはじめとする関係の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。今年度の大会を振り返り報告いたします。

□高校総体

女子決勝は大分西高校が昭和学園高校を5-1で下し、3年ぶり5回目の優勝を飾った。4強には、大分東・佐伯豊南が入った。また、男子は日田林工高校が大分東高校を6-0で下し優勝し、7年ぶり8回目の優勝を飾った。佐賀県との九州第7代表戦で牛津高校に勝利し、7年ぶり7回目のインターハイ出場切符を手に入れた。

□九州大会

女子は大分西高校は1回戦で延岡学園高校（宮崎県）に1-0で勝ち、2回戦で神村学園高校（鹿児島県）に0-2で敗退した。（ベスト8）昭和学園高校が1回戦で九州文化学園高校（長崎県）に2-8で敗退した。

男子は日田林工高校が1回戦で日向工業高校（宮崎県）に0-3で敗退した。大分東高校も九州産業大学付属九州高校（福岡県）に1回戦で0-11で敗退した。

□インターハイ

女子は大分西高校が1回戦で加藤学園高校（静岡県）に1-3で敗退した。

男子は日田林工高校が1回戦で明德義塾高校（高知県）に0-4で敗退した。

□新人大会

女子は大分西高校が昭和学園高校を1-0で下し、3年連続8回目の優勝を飾った。4強には大分東・佐伯豊南が入った。男子は大分東高校が日田林工高校を16-12で下し3年ぶり4回目の優勝を飾った。

□秋季九州大会

女子は大分西高校が1回戦で伊万里商業高校（佐賀県）に4-12で敗退した。昭和学園高校も1回戦で八代東高校（熊本県）に2-5で敗退した。

男子は大分東高校が1回戦で具志川高校（沖縄県）に1-10で敗退した。日田林工高校も鹿屋農業高校（鹿児島県）に1回戦で1-13で敗退した。

□国民体育大会九州ブロック

男女共に九州ブロックを突破できず本国体への切符を手にする事ができなかった。

来年度は強化策を更に具体化し、力を付けて本国体の出場権を獲得したい。

第60回大分県高等学校総合体育大会ソフトボール競技 結果

平成24年6月2日（土）～3日（日）大分市営日岡球場A・B

女子

1	大分東	5	0	大分西高校
2	日出暘谷	0	1	
3	三重総合	0	2	
4	昭和学園	20	8	
5	大分西	15	5	
6	森・日田三隈	0	1	
7	大分南	4		
8	佐伯豊南	5		

*優勝チームに全国大会（富山県）と九州大会の出場を、準優勝チームに九州大会の出場資格を与える。

男子

1	日田林工
2	耶馬溪
3	大分東

	日田林工	耶馬溪	大分東	勝敗	順位
1 日田林工	○	○27-0	○6-0	2勝	1
2 耶馬溪	●0-27	○	●2-13	2敗	3
3 大分東	●0-6	○13-2	○	1勝1敗	2

*優勝チームは全国大会第7代表戦（対佐賀県）と九州大会の出場を、準優勝チームには九州大会の出場資格を与える。

平成24年度大分県高等学校新人ソフトボール競技大会 結果

平成24年10月27日（土）・28日（日）竹田市総合運動公園多目的広場A・B

女子

1	昭和学園	8	0	大分西
2	日出暘谷	0	1	
3	佐伯豊南	10	4	
4	大分西	9	1	
5	大分南	0		
6	森・日田三隈	0		
7	大分東	10		

3年連続8回目

男子

1	日田林工
①	2中津南耶馬溪
②	3大分東
③	

	日田林工	中津南耶馬溪	大分東	勝敗	順位
日田林工	○	○23-5	●12-16	1勝1敗	2
中津南耶馬溪	●5-23	○	●0-14	0勝2敗	3
大分東	○16-12	○14-0	○	2勝0敗	1

大分東高校（3年ぶり4回目の優勝）

12. 相 撲

(1) 役 員

専門部部長 小野 寿明 宇 佐 高等学校
専門部委員長 水之江 浩 佐伯豊南 高等学校
専門部副委員長 恒賀 正則 中津東 高等学校

支部役員

大分支部 重倉 宜誉 楊志館 高等学校
久大支部 坂本 昭文 日田林工 高等学校
県北支部 木下 裕司 宇 佐 高等学校
県南豊肥支部 水之江 浩 佐伯豊南 高等学校



部 長 小野 寿明



委員長 水之江 浩

(2) 所 感

平成24年度の大会行事が滞りなく終了できましたのも、関係者各位の温かいご理解とご支援、ご協力の賜と感謝しております。

さて、本年度の県大会を振り返ってみると、団体戦は前年度新人戦団体優勝の楊志館高校が順当に、3回目の優勝を果たし、第2位は日田林工高校、第3位は中津東高校の結果であった。個人戦においては無差別級で中島一世（日田林工）が優勝を果たし、第2位は的場大河（楊志館）第3位は野口拓磨（日田林工）の結果であった。他の階級はそれぞれ80kg未満級で三苦大士（日田林工）が、100kg未満級で河津健社（日田林工）が、100kg以上級で野上健吾（中津東）が制した。

高校新人大会は、団体戦で総合力で優る、楊志館が優勝を果たした。個人戦では、橋本幸一（楊志館）が優勝を果たし、準優勝は大塚瑞樹（中津東）第3位は三苦大士（日田林工）江口洸太郎（中津東）の結果であった。

全九州高等学校相撲競技大会（長崎県）において、団体戦は楊志館高校・日田林工高校が出場し、楊志館高校が準優勝、日田林工高校がベスト8に入賞した。個人戦では各階級に出場し、2年連続80kg未満級で三苦大士（日田林工）が3位に入賞を果たした。

全国高等学校総合体育大会相撲競技（青森県）において、団体戦は楊志館高校が出場したが、残念ながら予選を通過して決勝トーナメント一回戦で敗退した。個人戦では3名出場し、中島一世（日田林工）2勝1敗・野口拓磨（日田林工）3勝で予選を通過したが決勝一回戦で中島が敗退し2回戦で野口が敗退、的場大河（楊志館）1勝2敗で予選敗退の成績を残した。

今年の国体（岐阜県）は昨年の国体の雪辱を誓い、大分県相撲連盟の総力をあげて計画的に競技力の向上を図ってきた結果、予選成績2勝1敗で決勝トーナメント進出を果たすことはできたが、ベスト16で惜しくも敗れた。

全九州高等学校新人相撲競技大会（鹿児島県）において、団体戦に楊志館高校・中津東高校・宇佐高校が出場し、宇佐高校は予選敗退し、楊志館高校・中津東高校が共に3位入賞の成績を残した。個人戦においては惜しくも入賞出来なかった。

最後になりましたが、高体連相撲専門部が益々発展いたしますよう皆様方のご指導、ご鞭撻、ご協力をいただくことをお願い申し上げます。

第60回大分県高等学校総合体育大会 相撲競技結果

団体戦

リーグ戦	宇佐	日田林工	楊志館	東龍	中津東	豊南	勝敗	得点	順位
宇佐産業科学	1	0	0	③	0	④	②	8	6
宇佐	④	0	0	2	1	④	②	11	4
日田林工	⑤	⑤	2	⑤	④	⑤	⑤	26	2
楊志館	⑤	⑤	③	⑤	④	④	⑥	26	1
東九州龍谷	2	③	0	0	0	④	②	9	5
中津東	⑤	④	1	1	⑤	⑤	④	21	3
佐伯豊南	1	1	0	1	1	0	0	4	7

個人戦

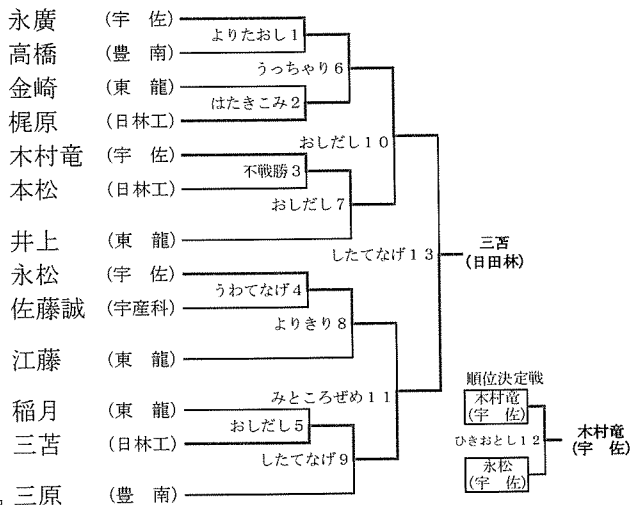
無差別級 〇予選トーナメント



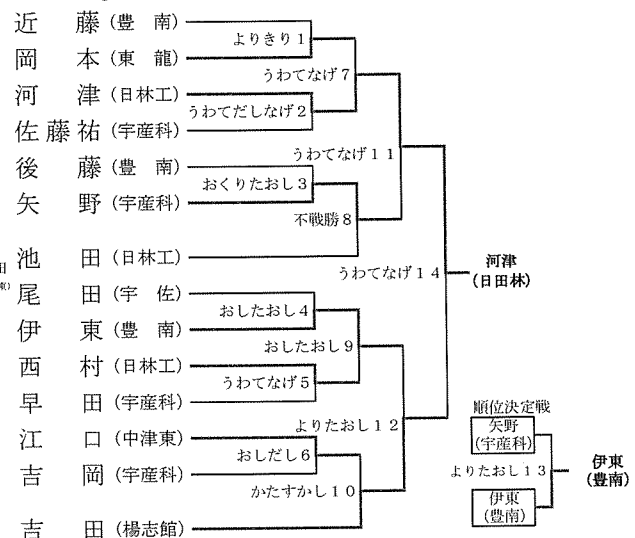
〇決勝リーグ*	A	B	C	D	E	F	G	H	勝敗	順位
A 橋本幸一	〇	×	〇	×	〇	×	〇	〇	④	5
B 久保勇希	×	〇	×	〇	×	×	〇	×	③	6
C 野口拓磨	×	〇	〇	×	〇	〇	×	〇	④	3
D 本田熙誉志	〇	×	〇	〇	×	〇	×	×	④	4
E 多田圭志	×	〇	×	×	〇	×	〇	×	②	7
F 中島一世	〇	〇	×	〇	〇	〇	〇	×	⑤	1
G 浅井良太	×	×	〇	×	×	×	〇	×	①	8
H 的場大河	×	〇	×	〇	〇	〇	〇	〇	⑤	2

*個人決勝リーグシード選手
 (1) 中島一世 (日田林工)
 (2) 浅井良太 (楊志館)
 (3) 的場大河 (楊志館)

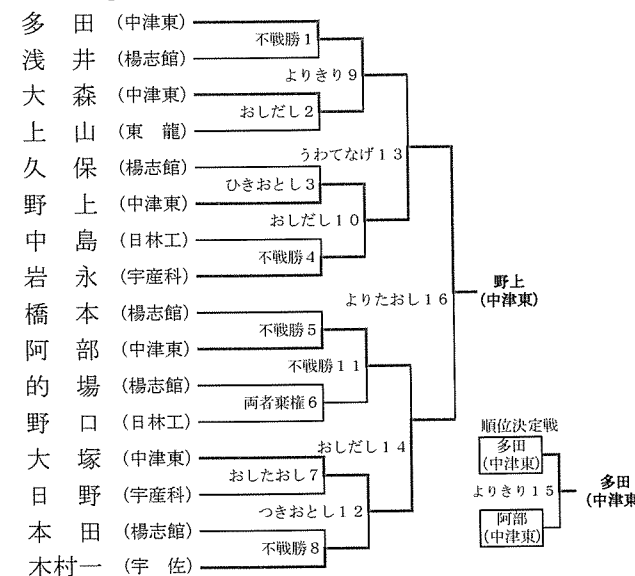
80kg未満級



100kg未満級



100kg以上級

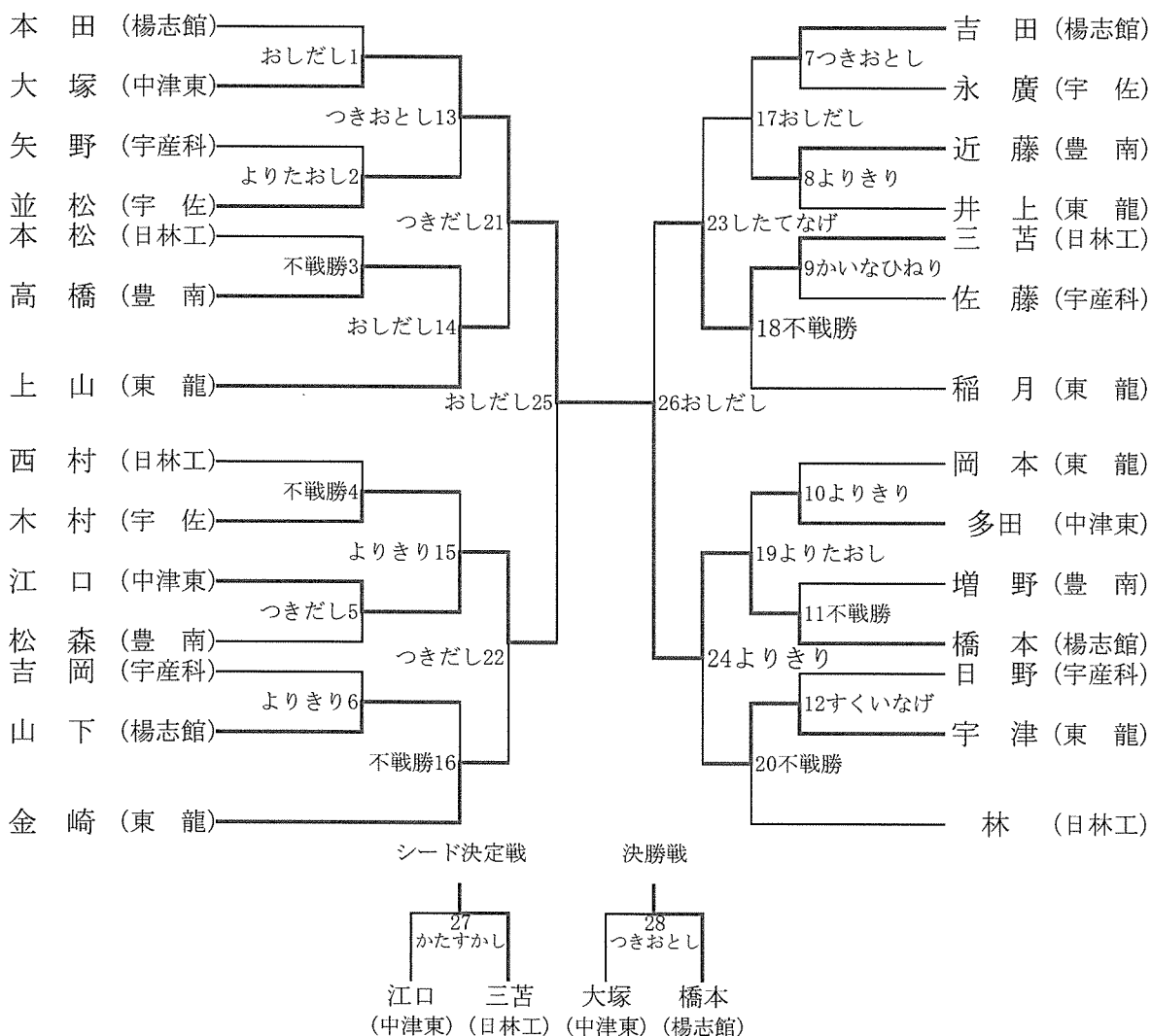


平成24年度大分県高等学校新人相撲競技大会 結果

団 体 戦

リーグ戦	楊志館	東九州龍谷	佐伯豊南	日田林工	中津東	宇佐産業科学	宇 佐	勝敗	得点	順位
楊志館		③	③	×	③	③	③	⑤	15	1
東九州龍谷	0		1	×	0	②	1	①	4	5
佐伯豊南	0	②		×	0	②	1	②	5	4
日田林工	×	×	×		×	×	×	×	×	×
中津東	0	③	③	×		③	③	④	12	2
宇佐産業科学	0	1	1	×	0		0	0	2	6
宇 佐	0	②	②	×	0	③		③	7	3

個 人 戦 ○無差別級



13. 柔 道

(1) 役 員

専門部部長 栗原 眞 国 東 高等学校
 専門部委員長 利光 正 大分工業 高等学校
 専門部副委員長 田川 晋治 国 東 高等学校



部 長 栗原 眞

支部役員

大 分 支 部 吉田 正次 楊 志 館 高等学校
 別速杵国東支部 都甲 勝俊 山 香 農 業 高等学校
 県北久大支部 大村 英峰 高 田 高等学校
 “ 山 中 淳 日 田 林 工 高等学校
 県南豊肥支部 丸尾 文宣 三 重 総 合 高等学校



委員長 利光 正

(2) 所 感

平成24年度の各大会、行事も無事に終了することができ、県柔連・高体連・各学校の先生方のご協力に心より御礼申し上げます。

本年度のビックニュースは、第61回全国高等学校柔道大会の男子100kg級で、岩永修平（杵築高校）が（県内在籍生徒33年ぶりに）全国制覇することができ、地方からでも努力次第で目標を達成できることを証明してくれた。

さて本年度の各大会を振り返ってみると、男子団体では全国高校総体県予選で、杵築高校が柳ヶ浦高校と決勝戦を行い、副将戦までに双方のポイントゲッターが勝ち星を取り合いで2対2になり、大將戦で岩永が一本勝ちして、杵築高校が2年連続16回目の優勝を飾った。全九州大会で、杵築高校と柳ヶ浦高校が共に予選リーグを勝ち抜き、決勝トーナメントで杵築高校が沖縄尚学高校に1対4で惨敗し、柳ヶ浦高校が大牟田高校に0対4で惨敗したが、出場した2校が3位に入賞したことは久々の快挙でした。全国高校総体では、杵築高校が2回戦で準優勝した日体荏原高校に0対5で惨敗した。新人大会は、柳ヶ浦高校・高田高校・大分東明高校・国東高校の4校でリーグ戦を行い柳ヶ浦高校が3勝0敗で36年ぶり2回目の優勝をした。九州新人大会では、柳ヶ浦高校が、1回戦で東海大付属第五高校に1対1の代表戦で勝利し、2回戦で鹿児島情報高校に1対2惜敗した。高田高校が1回戦で長崎日本大学高校に0対5で惨敗した。大分東明高校も1回戦で嘉穂高校に0対5で惨敗した。国東高校は1回戦で延岡学園高校2対2の内容で惜敗した。第35回全国高校柔道選手権大会県予選は、柳ヶ浦高校と高田高校の決勝戦となり、小倉・松谷の活躍でエース金山に出場機会を与えず柳ヶ浦高校が3年ぶり3回目の優勝を飾り、全国高校柔道選手権大会に2回目の出場を決めた。

女子団体では、全国高校総体県予選で、柳ヶ浦高校が国東高校と決勝戦を行い0対0からの代表戦で小倉葉月が一本勝ちして初優勝した。全九州大会で、柳ヶ浦谷高校リーグ4位と国東高校リーグ4位で決勝トーナメントに進めなかった。全国高校総体では、柳ヶ浦高校が2回戦で富山商業高校に2対0の内容で快勝し、3回戦で市立沼津高校に1対2の内容で惜敗した。新人大会では、大分西高校・柳ヶ浦高校・国東高校・東九州龍谷高校の4校でリーグ戦を行い大分西高校が初優勝を飾った。九州新人大会では、大分西高校が、2回戦で国分中央高校に3対0で勝利し、3回戦で優勝した敬愛高校に0対3で惨敗した。柳ヶ浦高校は1回戦で南筑高校に1対2で惜敗した。国東高校は1回戦で沖学園高校に0対3惨敗した。全国高校柔道選手権大会県予選は、大分西高校と国東高校の決勝戦となり、1対1の激戦の末、内容勝ちで大分西高校が2年ぶり2回目の優勝を飾った。

男子個人では、全九州大会で60kg級 小倉拓実（柳ヶ浦）・73kg級 元嶋一也（柳ヶ浦）・100kg級 岩永修平（杵築）・100kg超級 中島勇貴（国東）準優勝、81kg級 金山天地（柳ヶ浦）・90kg級 安部祥央（杵築）3位に入賞し健闘した。全国高校総体では、100kg級 岩永修平（杵築）優勝、60kg級 小倉拓実（柳ヶ浦）・73kg級 元嶋一也（柳ヶ浦）・81kg級 金山天地（柳ヶ浦）・100kg超級 中島勇貴（国東）が5位に入賞し健闘した。九州新人大会では、81kg級 金山天地（柳ヶ浦）優勝、100kg級 松谷鯉太郎（柳ヶ浦）が3位に入賞し健闘した。

女子個人では、全国高校総体で57kg級 高橋百合子（大分西）3位、78kg級 江口愛佳（柳ヶ浦）5位に入賞し健闘した。九州新人大会では、48kg級 阿部まりな（国東）優勝し健闘した。

今年度は、全国総体で男子個人優勝・女子個人3位、ブロック国体を2位で通過して岐阜清流国体出場し、競技力の向上が出来ました。来年度も引き続き、正しい柔道プラス攻撃柔道を競技力向上の目的とし、柔道修行の目的である「精力善用」「自他共栄」を広め、柔道を通じての人間教育を最大の目的に、高校柔道発展のため、選手強化、競技力・指導力の向上を図っていききたいと思います。

第60回大分県高等学校総合体育大会柔道競技結果

6月21日(土) 10:00～

(柔道) 男子団体

○…第1試合場
()…第2試合場

杵築	1	5	0	15	国東
日田林工	2	3	1	18	大分上野丘
大分工業	3	5	0	11	野津
楊志館	4	5	0	13	大分東明
竹田	5	3	2	10	大分南
高田	6	2	0	17	柳ヶ浦
鶴崎工業	7	5	0	16	山香農業
由布	8	2	0	10	中津南
中津北	9	5	0	20	大分豊府
東九州龍谷	10	2	0	21	中津東
三重総合	11	3	0		

優勝	杵築	高等学校
2位	柳ヶ浦	高等学校
3位	高田	高等学校
3位	国東	高等学校

-3-

男子準決勝

1試合目

学校名	杵築高校	3		0	高田高校	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	岩永修平	○	払腰	▲	淵野勇太	大将
副将	安部祥央	○	小内刈	▲	金崎康貴	副将
中堅	小川照太	×	引き分け	×	坂本真輝	中堅
次鋒	佐藤翔平	○	優勢	▲	田中康貴	次鋒
先鋒	北條祐貴	×	引き分け	×	但馬総汰郎	先鋒

2試合目

学校名	国東高校	2	代表勝ち	2	柳ヶ浦高校	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	田口幸大	×	引き分け	×	小倉祐実	大将
副将	近藤優樹	○	優勢	▲	内田雄	副将
中堅	常尾大聖	▲	優勢	○	松谷健太郎	中堅
次鋒	中島勇貴	○	反則	×	豊久大貴	次鋒
先鋒	小野剛志	▲	合技	○	金山天地	先鋒
代表	中島勇貴	▲	優勢	○	金山天地	代表

男子決勝

学校名	杵築高校	3		2	柳ヶ浦高校	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	岩永修平	○	裏投	▲	小倉祐実	大将
副将	安部祥央	○	優勢	▲	内田雄	副将
中堅	小川照太	▲	優勢	○	松谷健太郎	中堅
次鋒	佐藤翔平	○	三角絞	▲	豊久大貴	次鋒
先鋒	北條祐貴	▲	内股透	○	金山天地	先鋒

男子トーナメント準々決勝

学校名	杵築高校	5		0	楊志館高校	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	佐藤康雄	○	内股	▲	後藤雅和	大将
副将	小川淳斗	○	優勢	▲	室岡勇為	副将
中堅	小川照太	○	背負投	▲	原内穂高	中堅
次鋒	佐藤翔平	○	内股	▲	先岡祐太	次鋒
先鋒	北條祐貴	○	払腰	▲	山口孝治	先鋒

学校名	高田高校	②	内容勝	2	中津北	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	淵野勇太	○	横四方固	▲	小野康仁	大将
副将	金崎康貴	▲	優勢	○	乙女慎吾	副将
中堅	坂本真輝	▲	裏投	○	鹿形剛平	中堅
次鋒	田中康貴	×	引き分け	×	長谷川瑛也	次鋒
先鋒	但馬総汰郎	○	袖釣込腰	▲	泉一貴	先鋒

学校名	国東高校	3		0	東明高校	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	田口幸大	×	引き分け	×	安藤慎平	大将
副将	近藤優樹	○	上四方固	▲	新藤誠慈	副将
中堅	常尾大聖	○	後壁袈固	▲	原田裕将	中堅
次鋒	中島勇貴	○	内股	▲	岩本圭祐	次鋒
先鋒	小野剛志	×	引き分け	×	首藤義輝	先鋒

学校名	柳ヶ浦高校	5		0	大分豊府	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	小倉祐実	○	優勢	▲	小野泰治郎	大将
副将	内田雄	○	横四方固	▲	佐藤孝介	副将
中堅	松谷健太郎	○	横四方固	▲	利光正輔	中堅
次鋒	豊久大貴	○	小外刈	▲	工藤正太郎	次鋒
先鋒	金山天地	○	合技	▲	佐藤隆幸	先鋒

女子団体

○…第1試合場
()…第2試合場

国東	1	2	3	7	柳ヶ浦
東九州龍谷	2	1	3	8	野津
三重総合	3	0	0	9	大分国際情報
日田林工	4	0	0	10	鶴崎工業
中津北	5	0	1	11	大分西
楊志館	6	3	0	12	由布

1試合目

女子準決勝

学校名	国東高校	3		0	日田林工	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	小山田千尋	○	優勢	▲	小野真美	大将
中堅	田川有紀	○	合技	▲	平崎朱莉	中堅
先鋒	阿部まりな	○	優勢	▲	戸刈楓穂	先鋒

2試合目

学校名	柳ヶ浦高校	1		0	大分西高校	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	福積亜希	×	引き分け	×	亀井咲希	大将
中堅	江口愛佳	×	引き分け	×	岡田果穂	中堅
先鋒	松本桐子	○	優勢	▲	高橋百合子	先鋒

女子決勝

学校名	国東高校	0	代表勝ち	0	柳ヶ浦高校	学校名
	氏名		決まり技		氏名	
大将	小山田千尋	×	引き分け	×	福積亜希	大将
中堅	田川有紀	×	引き分け	×	小倉菜月	中堅
先鋒	阿部まりな	×	引き分け	×	松本桐子	先鋒
代表	田川有紀	▲	支釣込足	○	小倉菜月	代表

男子個人戦

66kg級

60kg級

小倉拓実(柳ヶ浦) 1	14 香月健介(国東)
里永賢郎(上野丘) 2	15 石原崇正(日林工)
藤生慎治(竹田) 3	16 立川光太郎(東九龍)
徳丸正樹(国東) 4	17 久野龍作(大工)
竹ノ内由輝(高田) 5	18 安本俊貴(高田)
西水俊介(山香農) 6	19 阿南将弘(鶴工)
永松弦紀(柳ヶ浦) 7	20 三ヶ尻竜太(由布)
小林照生(柳ヶ浦) 8	21 植木慎(高田)
富松佑太(国東) 9	22 長谷川純也(山香農)
高瀬和也(柳ヶ浦) 10	23 児玉彩人(鶴工)
辻田由貴(東明) 11	24 俊藤汰河(三重総)
首藤龍也(三重総) 12	25 工藤銀龍(大工)
利光佑介(大工) 13	26 太田海人(東明)

優勝	小倉 拓実 (柳ヶ浦)
第2位	香月 健介 (国東)
第3位	高瀬 和也 (柳ヶ浦)
第3位	植木 慎 (高田)

佐藤隆享(豊府) 1	15 小野剛志(国東)
竹根佳風(中津東) 2	16 渡邊正人(国東)
尾崎雅史(野津) 3	17 中牟田航熙(柳ヶ浦)
古原圭祐(中津東) 4	18 伊東浩司(竹田)
宮原和希(柳ヶ浦) 5	19 利光法一(鶴工)
藤原康弘(杵築) 6	20 吉村光平(中津南)
本田慎治(山香農) 7	21 竹中将人(大分南)
俊藤竜裕(日林工) 8	22 木下龍征(柳ヶ浦)
松村侑哉(杵築) 9	23 原遼太郎(豊府)
上田宛弥(東九龍) 10	24 中島直紀(柳ヶ浦)
伊東駿輝(豊府) 11	25 岩本圭祐(東明)
神島直也(楊志館) 12	26 佐藤龍仁(鶴工)
伊藤徳志(三重総) 13	27 石川啓太(国東)
若松祐志(山香農) 14	28 田邊和馬(鶴工)

優勝	小野 剛志 (国東)
第2位	佐藤 隆享 (豊府)
第3位	岩本 圭祐 (東明)
第3位	松村 侑哉 (杵築)

73kg級

小川照太(杵築) 1	16 元嶋一也(柳ヶ浦)
工藤正太郎(豊府) 2	17 阿部将一郎(国東)
中野泰統(大工) 3	18 津行真史(鶴工)
後藤卓哉(竹田) 4	19 渡邊圭亮(野津)
小畑裕樹(山香農) 5	20 柴田佳祐(大分南)
綾部真太郎(中津南) 6	21 井堂成(日林工)
根本雄貴(鶴工) 7	22 羽田有希(東明)
生野大賢(上野丘) 8	23 泉一貴(中津北)
吉本幸平(杵築) 9	24 山口零治(楊志館)
乙女慎吾(中津北) 10	25 米光巧(高田)
神田恒太郎(三重総) 11	26 矢野裕太(野津)
重松隼人(中津北) 12	27 石川治希(国東)
坂井勇太(東明) 13	28 都筑友哉(柳ヶ浦)
西方陽介(高田) 14	29 吉良竜一(竹田)
幸浩太郎(杵築) 15	

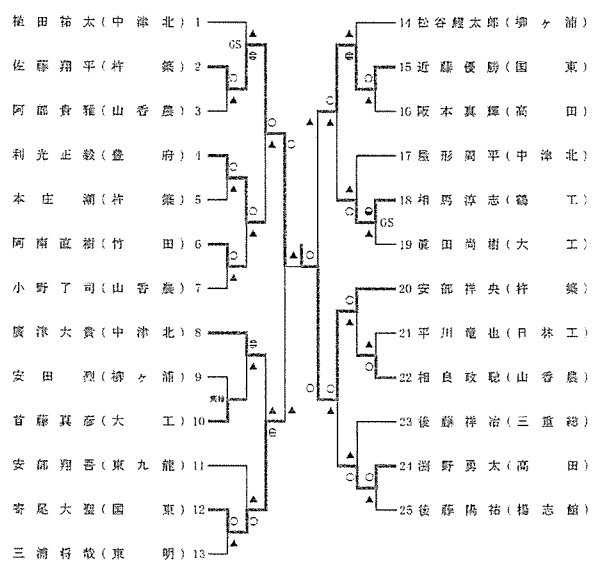
優勝	元嶋 一也 (柳ヶ浦)
第2位	乙女 慎吾 (中津北)
第3位	矢野 裕太 (野津)
第3位	綾部 真太郎 (中津南)

81kg級

金山天地(柳ヶ浦) 1	12 田口泰大(国東)
安部聖也(杵築) 2	13 但馬総汰郎(高田)
緒方孝道(東明) 3	14 徳光賢樹(大工)
原田裕将(東明) 4	15 原内徳貴(楊志館)
古竹尾勇武(柳ヶ浦) 5	16 金光真(中津東)
長谷川晴也(中津北) 6	17 豊久大貴(柳ヶ浦)
後藤孝介(豊府) 7	18 池島龍昭(上野丘)
日高将大(柳ヶ浦) 8	19 大谷修弘(日林工)
佐藤康雅(杵築) 9	20 森大祐(東明)
門田健一朗(東九龍) 10	21 阿部高久(山香農)
桑山航(鶴工) 11	22 衛藤敏慈(東明)

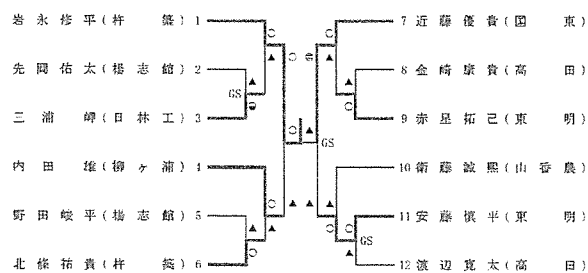
優勝	金山 天地 (柳ヶ浦)
第2位	但馬 総汰郎 (高田)
第3位	佐藤 康雅 (杵築)
第3位	豊久 大貴 (柳ヶ浦)

90kg級



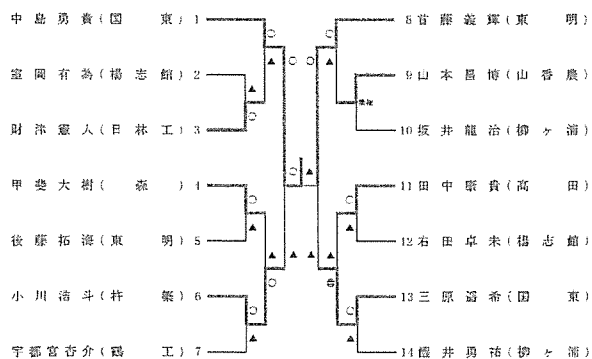
優勝	安部 祥央	(杵築)
第2位	佐藤 翔平	(杵築)
第3位	近藤 優勝	(国東)
第3位	寄尾 大聖	(国東)

100kg級



優勝	岩永 修平	(杵築)
第2位	近藤 優貴	(国東)
第3位	内田 雄	(柳ヶ浦)
第3位	安藤 慎平	(東明)

100kg超級



優勝	中島 勇貴	(国東)
第2位	首藤 義輝	(東明)
第3位	小川 浩斗	(杵築)
第3位	三原 遥希	(国東)

女子個人戦

48kg級

阿部 まりな (国 東) 1	6 入江 美佳 (中津北)
岡松 美紗 (由 布) 2	7 内田 礼架 (三重総)
甲斐 未由生 (山香農) 3	8 小代 真梨子 (竹 田)
大野 恵里花 (大分南) 4	9 那須 美里 (由 布)
山本 紗矢香 (柳ヶ浦) 5	10 栗林 日佳理 (国 東)
	11 広川 由樹乃 (野 津)

優勝	阿部 まりな	国 東
第2位	那須 美里	由 布
第3位	山本 紗矢香	柳ヶ浦
第3位	入江 美佳	中津北

52kg級

久下 真帆 (鶴 工) 1	7 藤本 彩 (柳ヶ浦)
牛瀬 花梨 (柳ヶ浦) 2	8 大平 玲奈 (楊志館)
江藤 夏織 (大分西) 3	9 田川 有香 (国 東)
江藤 あかり (三重総) 4	10 飯尾 香織 (竹 田)
志丸 亜沙美 (国 東) 5	11 有次 さつき (国 東)
那須 千里 (由 布) 6	12 梶原 真夏 (三重総)

優勝	久下 真帆	鶴 工
第2位	藤本 彩	柳ヶ浦
第3位	江藤 あかり	三重総
第3位	梶原 真夏	三重総

70kg級

岡田 果穂 (大分西) 1	4 松本 桐子 (柳ヶ浦)
池田 香織 (由 布) 2	5 本多 恵里香 (東九龍)
合田 舞 (楊志館) 3	6 有馬 沙希 (由 布)
	7 松本 愛也奈 (大国情)

優勝	岡田 果穂	大分西
第2位	松本 桐子	柳ヶ浦
第3位	合田 舞	楊志館
第3位	松本 愛也奈	大国情

78kg級

千葉 鈴子 (鶴 工) 1	4 森本 有莉奈 (東九龍)
安達 知未 (三重総) 2	5 芦刈 瑞穂 (日林工)
稲積 亜希 (柳ヶ浦) 3	6 久多良木 優美 (大分西)

優勝	森本 有莉奈	東九龍
第2位	稲積 亜希	柳ヶ浦
第3位	千葉 鈴子	鶴 工
第3位	久多良木 優美	大分西

57kg級

小倉 葉月 (柳ヶ浦) 1	8 田川 有紀 (国 東)
小山田 千尋 (国 東) 2	9 大霜 実咲 (東九龍)
伊東 侑菜 (大分西) 3	10 梶原 綾 (日林工)
國廣 瑠織 (国 東) 4	11 高橋 百合子 (大分西)
佐藤 由梨乃 (楊志館) 5	12 室岡 明日翔 (国 東)
三好 遙 (由 布) 6	13 山田 美穂 (由 布)
阿南 観月 (三重総) 7	

優勝	高橋 百合子	大分西
第2位	小倉 葉月	柳ヶ浦
第3位	田川 有紀	国 東
第3位	阿南 観月	三重総

63kg級

亀井 咲希 (大分西) 1	8 永松 未有 (柳ヶ浦)
清田 光咲 (三重総) 2	9 小野 真美 (日林工)
佐藤 静佳 (鶴 工) 3	10 竹田 香乃子 (三重総)
平崎 朱莉 (日林工) 4	11 吉原 櫻子 (大分西)
小野 紗矢耶 (野 津) 5	12 岩永 智美 (東九龍)
黒川 弥弥 (中津北) 6	13 矢野 茉莉華 (大国情)
秋吉 悠美 (国 東) 7	

優勝	亀井 咲希	大分西
第2位	吉原 櫻子	大分西
第3位	小野 紗矢耶	野 津
第3位	永松 未有	柳ヶ浦

78kg超級

	江口 愛佳 (柳ヶ浦)	渡辺 明穂 (高 田)	岡邊 まゆ (大分西)	勝	負	分	順
江口 愛佳 (柳ヶ浦)		○	○	2	0	0	1
渡辺 明穂 (高 田)	▲		▲	0	2	0	3
岡邊 まゆ (大分西)	▲	○		1	1	0	2

優勝	江口 愛佳	柳ヶ浦
第2位	岡邊 まゆ	大分西
第3位	渡邊 明穂	高 田

○ 第1試合場
() 第2試合場

女子団体組み合わせ

○ 第1試合場
() 第2試合場

A	柳ヶ浦	1	①	A	C	③	1	5	国東	C
	由布	2								

B	日田林工	3	△	B	D	②	2	7	大分西	D
	東九州龍谷	4								

A	杵築	1	④	A	C	③	1	8	柳ヶ浦	C
	大分東明	2								
	鶴崎工業	3								

B	高田	4	②	B	D	③	3	12	国東	D
	大分工業	5								
	楊志館	6								
	日田林工	7								

	A	B	C	D	勝	負	分	順
	柳ヶ浦	東九州龍谷	国東	大分西				
A 柳ヶ浦	△	②	×	△	1	1	1	2
B 東九州龍谷	△	△	△	△	0	3	0	4
C 国東	×	②	△	△	1	1	1	3
D 大分西	②	②	③	△	3	0	0	1

1位 大分西 高校
2位 柳ヶ浦 高校
3位 国東 高校
4位 東九州龍谷 高校

	A	B	C	D	勝	負	分	順
	大分東明	高田	柳ヶ浦	国東				
A 大分東明	△	△	△	②	1	2	0	3
B 高田	②	△	△	②	2	1	0	2
C 柳ヶ浦	②	④	△	③	3	0	0	1
D 国東	△	△	△	△	0	3	0	4

1位 柳ヶ浦 高校
2位 高田 高校
3位 大分東明 高校
4位 国東 高校

決勝リーグ(男子)

第1試合

学校名	大分東明	1	2	高田	学校名
	氏名	決まり技		氏名	
大将	首藤 義輝	○ 内股	▲	金崎 康貴	大将
副将	安東 慎平	▲ 優勢	◎	但馬 総汰郎	副将
中堅	三浦 将哉	▲ 背負投	○	洲野 勇太	中堅
次鋒	森 大祐	× 引き分け	×	田中 康貴	次鋒
先鋒	辻田 由貴	× 引き分け	×	阪本 真輝	先鋒

第2試合

学校名	柳ヶ浦	3	0	国東	学校名
	氏名	決まり技		氏名	
大将	小倉 拓実	○ 袖釣込腰	▲	三原 遥希	大将
副将	内田 雄	× 引き分け	×	近藤 優貴	副将
中堅	金山 天地	○ 肩車	▲	寄尾 大聖	中堅
次鋒	松谷 健太郎	○ 袈裟固	▲	石川 治希	次鋒
先鋒	中島 直紀	× 引き分け	×	阿部 将一郎	先鋒

第3試合

学校名	大分東明	②	2	国東	学校名
	氏名	決まり技		氏名	
大将	首藤 義輝	○ 合技	▲	三原 遥希	大将
副将	安東 慎平	▲ 優勢	◎	近藤 優貴	副将
中堅	三浦 将哉	▲ 大腰	○	寄尾 大聖	中堅
次鋒	森 大祐	○ 大内返	▲	石川 治希	次鋒
先鋒	辻田 由貴	× 引き分け	×	阿部 将一郎	先鋒

決勝リーグ(男子)

第4試合

学校名	高田	0	4	柳ヶ浦	学校名
	氏名	決まり技		氏名	
大将	金崎 康貴	▲ 優勢	◎	小倉 拓実	大将
副将	但馬 総汰郎	▲ 優勢	◎	内田 雄	副将
中堅	洲野 勇太	▲ 肩車	○	金山 天地	中堅
次鋒	田中 康貴	▲ 優勢	◎	松谷 健太郎	次鋒
先鋒	阪本 真輝	× 引き分け	×	中島 直紀	先鋒

第5試合

学校名	大分東明	2	②	柳ヶ浦	学校名
	氏名	決まり技		氏名	
大将	首藤 義輝	× 引き分け	×	小倉 拓実	大将
副将	安東 慎平	◎ 優勢	▲	内田 雄	副将
中堅	三浦 将哉	▲ 移腰	○	金山 天地	中堅
次鋒	森 大祐	▲ 肩車	○	松谷 健太郎	次鋒
先鋒	辻田 由貴	◎ 優勢	▲	中島 直紀	先鋒

第6試合

学校名	高田	2	1	国東	学校名
	氏名	決まり技		氏名	
大将	金崎 康貴	○ 大外返し	▲	三原 遥希	大将
副将	但馬 総汰郎	× 引き分け	×	近藤 優貴	副将
中堅	洲野 勇太	× 引き分け	×	寄尾 大聖	中堅
次鋒	田中 康貴	○ 体落	▲	石川 治希	次鋒
先鋒	阪本 真輝	▲ 背負投	○	阿部 将一郎	先鋒

決勝リーグ(女子)

第1試合	学校名	柳ヶ浦		2	1	東九州龍谷		学校名
		氏名		決まり技			氏名	
	大得	稲積 亜希	○	総合勝	▲	大霧 実咲	大得	
	中堅	藤本 彩	▲	払腰	○	森本 有莉奈	中堅	
	先鋒	松本 桐子	○	袈袢固	▲	岩永 智美	先鋒	

第2試合	学校名	国東		0	3	大分西		学校名
		氏名		決まり技			氏名	
	大得	秋吉 悠菜	▲	後袈裟固	○	吉原 優子	大得	
	中堅	阿部 まりな	▲	優勢	○	岡邊 圭佑	中堅	
	先鋒	室岡 明日翔	▲	袈裟固	○	岡田 果穂	先鋒	

第3試合	学校名	柳ヶ浦		0	2	大分西		学校名
		氏 名		決まり技		氏 名		
	大得	稲積 亜希	×	引き分け	×	吉原 優子	大得	
	中堅	藤本 彩	▲	棄権	○	岡邊 圭佑	中堅	
	先鋒	松本 桐子	▲	優勢	◎	岡田 果穂	先鋒	

第4試合	学校名	東九州龍谷		0	2	国東	学校名
		氏 名		決まり技		氏 名	
	大得	大霧 実咲	▲	払腰	○	秋吉 悠菜	大得
	中堅	森本 有莉奈	×	引き分け	×	阿部 まりな	中堅
	先鋒	岩永 智美	▲	優勢	◎	室岡 明日翔	先鋒

第5試合	学校名	柳ヶ浦		1	1	国東		学校名
		氏 名		決まり技			氏 名	
	大得	稲積 亜希	×	引き分け	×	秋吉 悠菜	大得	
	中堅	藤本 彩	▲	棄権	○	阿部 まりな	中堅	
	先鋒	松本 桐子	○	上四方固	▲	室岡 明日翔	先鋒	

第6試合	学校名	京九州龍谷		0	2	大分西		学校名
		氏 名			決まり技		氏 名	
	大得	大霧 実咲	▲	払腰	○	吉原 優子	大得	
	中堅	森本 有莉奈	×	引き分け	×	岡邊 圭佑	中堅	
	先鋒	岩永 智美	▲	横四方固	○	岡田 果穂	先鋒	

< 60 Kg 級 >

高瀬 和也 (柳ヶ浦)	1	徳丸 正樹 (国東)	10
内田 真聖 (東明)	2	阿南 将弘 (鶴工)	11
竹ノ内由輝 (高田)	3	安本 俊貴 (高田)	12
富松 佑太 (国東)	4	伊東 颯輝 (豊府)	13
田中源太郎 (鶴工)	5	石原 崇正 (日林工)	14
辻田 由貴 (東明)	6	首藤 龍也 (三重綿)	15
永松 弦紀 (柳ヶ浦)	7	利光 汰一 (鶴工)	16
後藤 汰河 (三重綿)	8	中島 直紀 (柳ヶ浦)	17
笠置 浩貴 (山香農)	9	西水 俊介 (山香農)	18

補欠決定

永松弦紀 (柳ヶ浦) — 石原崇正 (日林工)

1位 高瀬和也 2位 中島直紀 3位 永松弦紀 4位 石原崇正
柳ヶ浦高校 柳ヶ浦高校 柳ヶ浦高校 日林工高校

< 66 Kg 級 >

松村 侑哉 (杵築)	1	岩本 圭佑 (東明)	10
小林 照生 (柳ヶ浦)	2	市門 龍宣 (柳ヶ浦)	11
竹中 将人 (大分南)	3	本田 慎治 (山香農)	12
後藤 竜裕 (日林工)	4	石川 啓太 (国東)	13
原 遠太郎 (豊府)	5	田邊 和馬 (鶴工)	14
山口 孝治 (楊志館)	6	小倉 拓実 (柳ヶ浦)	15
竹根 佳昌 (中津東)	7	宮澤 真人 (鶴工)	16
伊藤 綿志 (三重綿)	8	渡邊 正人 (国東)	17
若松 祐志 (山香農)	9	上田 苑弥 (東九龍)	18

補欠決定

小林照生 (柳ヶ浦) — 岩本圭佑 (東明)

1位 小倉拓実 2位 山口孝治 3位 小林照生 4位 岩本圭佑
柳ヶ浦高校 楊志館高校 柳ヶ浦高校 東明高校

< 73 Kg 級 >

乙女 慎吾 (中津北)	1	神田恒太郎 (三重綿)	10
幸 浩太郎 (杵築)	2	門田健一朗 (東九龍)	11
齋松 隼人 (中津北)	3	小畑 裕樹 (山香農)	12
尾崎 雅史 (野津)	4	阿部将一郎 (国東)	13
小名川航太 (楊志館)	5	野崎 竜 (大分南)	14
吉本 幸平 (杵築)	6	榎本 雄貴 (鶴工)	15
宮原 和希 (柳ヶ浦)	7	石川 治希 (国東)	16
中野 泰純 (大工)	8	野崎 翔太 (由布)	17
米光 巧 (高田)	9	都筑 友哉 (柳ヶ浦)	18
		本田 将希 (大工)	19

補欠決定

吉本幸平 (杵築) — 神田恒太郎 (三重綿)

1位 乙女慎吾 2位 都筑友哉 3位 吉本幸平 4位 神田恒太郎
中津北高校 柳ヶ浦高校 杵築高校 三重綿高校

< 81 Kg 級 >

金山 天地 (柳ヶ浦)	1	但馬総汰郎 (高田)	8
徳光 賢樹 (大工)	2	小嶋 隆誠 (鶴工)	9
安部 翔吾 (東九龍)	3	西方 隼介 (高田)	10
本庄 湖 (杵築)	4	工藤正太郎 (豊府)	11
須川 都夢 (鶴工)	5	三浦 将哉 (東明)	12
後藤 孝介 (豊府)	6	長谷川晴也 (中津北)	13
安田 烈 (柳ヶ浦)	7		

補欠決定

後藤孝介 (豊府) — 工藤正太郎 (豊府)

1位 金山 天地 2位 但馬総汰郎 3位 後藤孝介 4位 工藤正太郎
柳ヶ浦高校 高田高校 豊府高校 豊府高校

< 90 Kg 級 >

寄尾 大聖 (国東)	1	洲野 勇太 (高田)	9
大谷 修弘 (日林工)	2	首藤 真彦 (大工)	10
廣津 大貴 (中津北)	3	小野 了司 (山香農)	11
森 大祐 (東明)	4	谷本 裕也 (日林工)	12
後藤 祥治 (三重綿)	5	林 亮哉 (東明)	13
阿部 貴雅 (山香農)	6	相良 政聡 (山香農)	14
緒方 孝道 (東明)	7	平川 竜也 (日林工)	15
植田 祐太 (中津北)	8	森 康 紘 (大分南)	16

補欠決定

寄尾大聖 (国東) — 森 大祐 (東明)

1位 植田祐太 2位 洲野勇太 3位 寄尾大聖 4位 林 亮哉
中津北高校 高田高校 国東高校 東明高校

< 100 Kg 級 >

近藤 優貴 (国東)	1	安藤 慎平 (東明)	5
後藤 拓海 (東明)	2	阪本 真輝 (高田)	6
松谷鯉太郎 (柳ヶ浦)	3	野田 峻平 (楊志館)	7
赤星 拓巳 (東明)	4	北條 祐貴 (杵築)	8
		坂井 麗治 (柳ヶ浦)	9

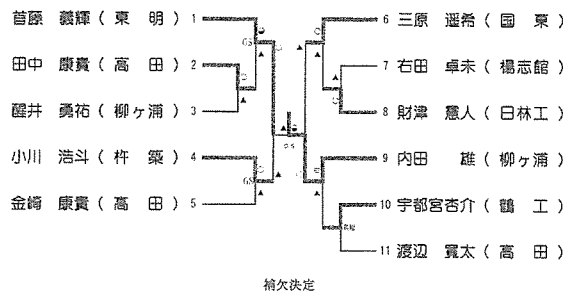
補欠決定

近藤優貴 (国東) — 安藤慎平 (東明)

1位 松谷鯉太郎 2位 北條祐貴 3位 近藤優貴 4位 安藤慎平
柳ヶ浦高校 杵築高校 国東高校 東明高校

平成24年度大分県高等学校新人柔道競技大会

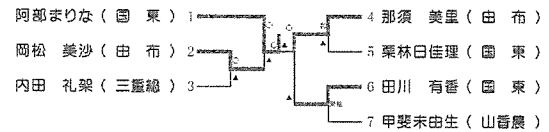
〈100Kg超級〉



小川浩斗（杵 築）——三原潤希（田 東）

- 1位 内田 雄
柳ヶ瀬高校
- 2位 首藤義輝
京明高校
- 3位 小川浩斗
特養高校
- 4位 三原遥希
国英高校

〈 4 8 Kg 級 〉

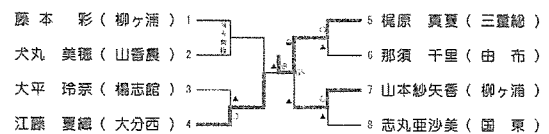


補欠決定

岡松美沙（由布）——田川有香（国東）

- 1位 阿部まりな 国東高校
2位 那須英里 由布高校
3位 田川有香 国東高校
4位 岡松美沙 由布高校

〈 5 2 Kg 級 〉



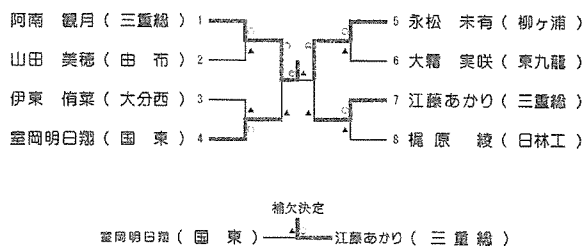
補欠決定

大平玲奈（ 楊志館 ）——山本紗矢香（ 柳ヶ浦 ）

- 1位 梶原真夏 三重総合高校
2位 江藤夏織 大分西高校
3位 山本紗矢香 柳ヶ瀬高校
4位 大平玲奈 横浜館高校

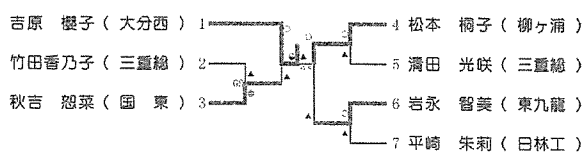
平成24年度大分県高等学校新人柔道競技大会

〈 5 7 g 級 〉



- 1位 阿南颯月 三笠総合高校
2位 永松未有 柳ヶ浦高校
3位 江藤あかり 三笠総合高校
4位 窪岡明日翔 国府高校

〈 6 3 Kg 級 〉

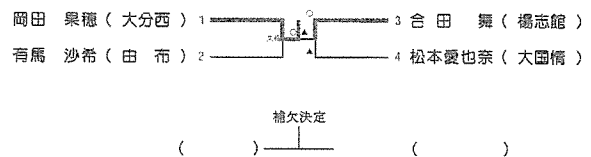


補欠決定

秋吉怨菜 (国 東) ———— 岩永智美 (東九龍)

- | | | | | | | | |
|----|-------|----|--------|----|-------|----|---------|
| 1位 | 吉原 櫻子 | 2位 | 松本 桐子 | 3位 | 秋吉 聰菜 | 4位 | 岩永 智美 |
| | 大分県高校 | | 徳文学園高校 | | 国産高校 | | 鹿児島県立高校 |

〈 70 Kg 級 〉



- 1位** 岡田果穂 **2位** 合田 舞 **3位** 松本愛也奈
大分西高校 摂志越高校 大國橋高校

〈 7 8 Kg 級 〉



- 1位 森本有莉奈 京九龍高校
2位 芦刈 瑞穂 日田林工商校

〈78Kg超級〉

	岡邊 まゆ (大分西)	渡辺 明徳 (高田)	稲積 亜希 (柳井瀬)	勝	負	分	順
岡邊 まゆ (大分西)		○ ③	⊖ GS ①	2	0	0	1
渡辺 明徳 (高田)	▲		▲ ②	0	2	0	3
稲積 亜希 (柳井瀬)	▲	⊖ GS		1	1	0	2

- 1位 岡邊 未ゆ 2位 稲積 亜希 3位 渡辺 明穂
大分西高校 桐ヶ濱高校 高田高校

14. 剣 道

(1) 役 員

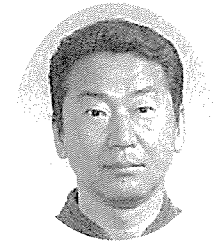
専 門 部 部 長 小 山 康 直 大 分 高 等 学 校
 専 門 部 委 員 長 三 浦 悟 大 分 高 等 学 校
 専 門 部 副 委 員 長 堀 秀 一 郎 日 田 高 等 学 校

支部役員

大 分 支 部 岩 本 貴 光 大 分 舞 鶴 高 等 学 校
 別 速 杵 国 東 支 部 阿 部 昭 一 杵 築 高 等 学 校
 県 北 久 大 支 部 堀 郁 郎 中 津 北 高 等 学 校
 “ 堀 秀 一 郎 日 田 高 等 学 校
 県 南 豊 肥 支 部 泉 英 明 三 重 総 合 高 等 学 校



部 長 小 山 康 直



委員 長 三 浦 悟

(2) 所 感

昨年に引き続き4月に行われた全日本都道府県対抗剣道優勝大会で、大分県チームが大活躍し、第3位入賞を果たしました。先鋒で出場した大分舞鶴高校の3年生間津選手がチームの牽引車の役割しっかりと果たしました。年度早々大変喜ばしいニュースであり、大分県の底力を高体連から発信していこうと一丸となって本年の行事を進めて参りました。

平成24年度大分県高等学校総合体育大会剣道競技では、男子団体戦では、大分舞鶴高校と杵築高校の一騎打ちとなり、大分舞鶴が本数差で競り勝ち3年連続の男子団体戦を制しました。女子団体戦では、大分高校が三重総合高校、大分鶴崎高校、昭和学園高校を下し、4年ぶり11回目の優勝を見事に果たしました。個人戦では2年生の園山選手（杵築）と矢野選手（大分鶴崎）が対戦し、園山選手が執念の勝利で優勝しました。また女子の部では、渡辺選手（三重総合）が森田選手（大分）を破り大分県個人優勝者に輝きました。

第59回全国高等学校剣道大会では、昨年度に続き3年連続の出場となった大分舞鶴高校は、予選リーグで日吉ヶ丘（京都）と東京農大二（群馬）と対戦し接戦の末破れ、予選リーグ敗退となりました。女子の大分高校は、主将の森田選手を中心としたチームワークの良さを全面に押しだし、予選リーグでは、優勝候補の東奥義塾（青森）埼玉栄（埼玉）を大接戦の末勝利し、阿蘇中央高校に代表戦の末に敗れたもののベスト8入賞というすばらしい結果を残しました。個人戦では、園山選手（杵築）と矢野選手（大分鶴崎）が出場し、園山選手が大活躍し、これも同様にベスト8入賞の結果を残しました。特筆すべきは、女子の個人戦でした。渡辺選手（三重総合）が森田選手（大分）が出場しましたが森田選手は全国の強豪を次々に撃破し見事個人優勝を収めました。

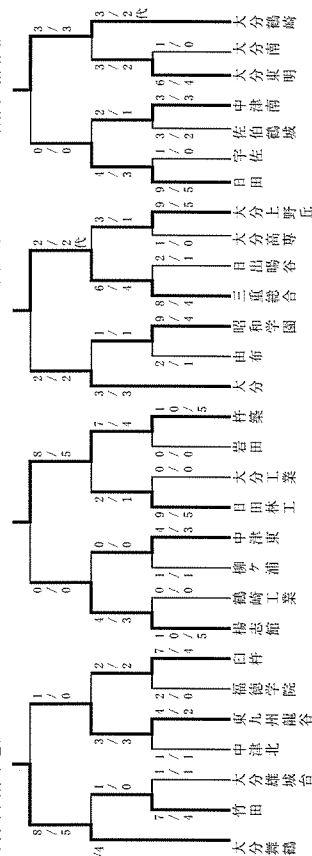
新チームとなり、秋季大会、新人戦（九州選抜予選）、全国選抜大会予選を実施しました。男子は大分舞鶴高校、杵築高校、三重総合高校、女子は、大分鶴崎高校と大分高校、更に杵築高校、三重総合高校、昭和学園高校といった学校が接戦を演じました。どの高校も、日頃の取り組みには、すばらしいものがありますが、他校の努力により、今後更に混戦となることが予想されます。最後の全国選抜大会大分県予選会では、大分舞鶴高校（3年連続3回目）と、女子の久しぶりの大活躍で大分鶴崎高校（11年ぶり4回目）が出場を果たし、インターハイ同様の活躍を全国選抜剣道大会（愛知県春日井市）では、期待したいと思います。

来年度も更なる結束力をもって生徒を第一に考え、心に残る運営をしていきたいと考えています。最後になりますが、関係各位に今年一年間の感謝を申し上げ、来年度も変わらぬご指導ご鞭撻の程をお願いし結びと致します。

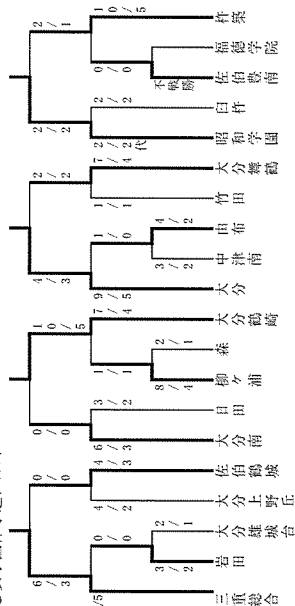
第60回大分県高等学校総合体育大会 剣道競技

○男子団体予選トナメント

平成24年6月2日～4日：別府市民体育館



○女子団体予選トーナメント



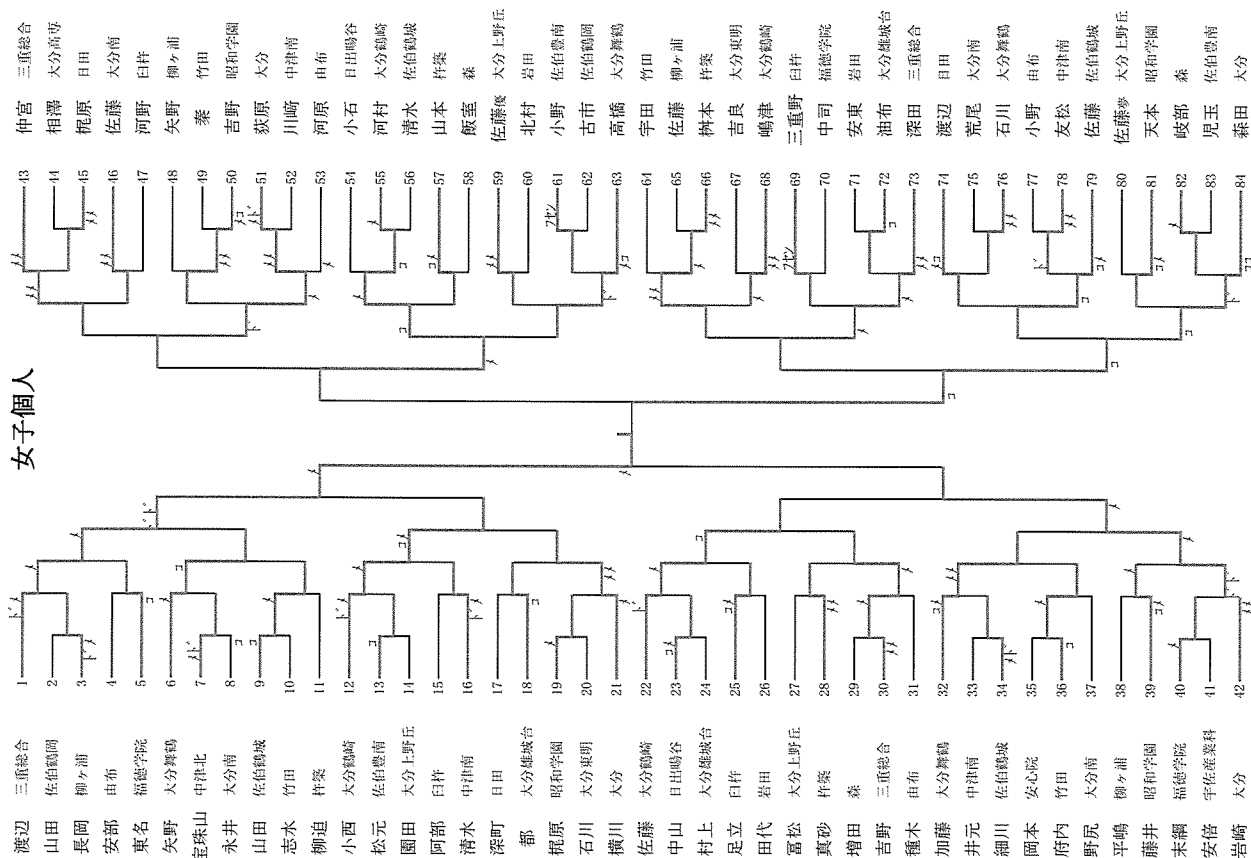
子野

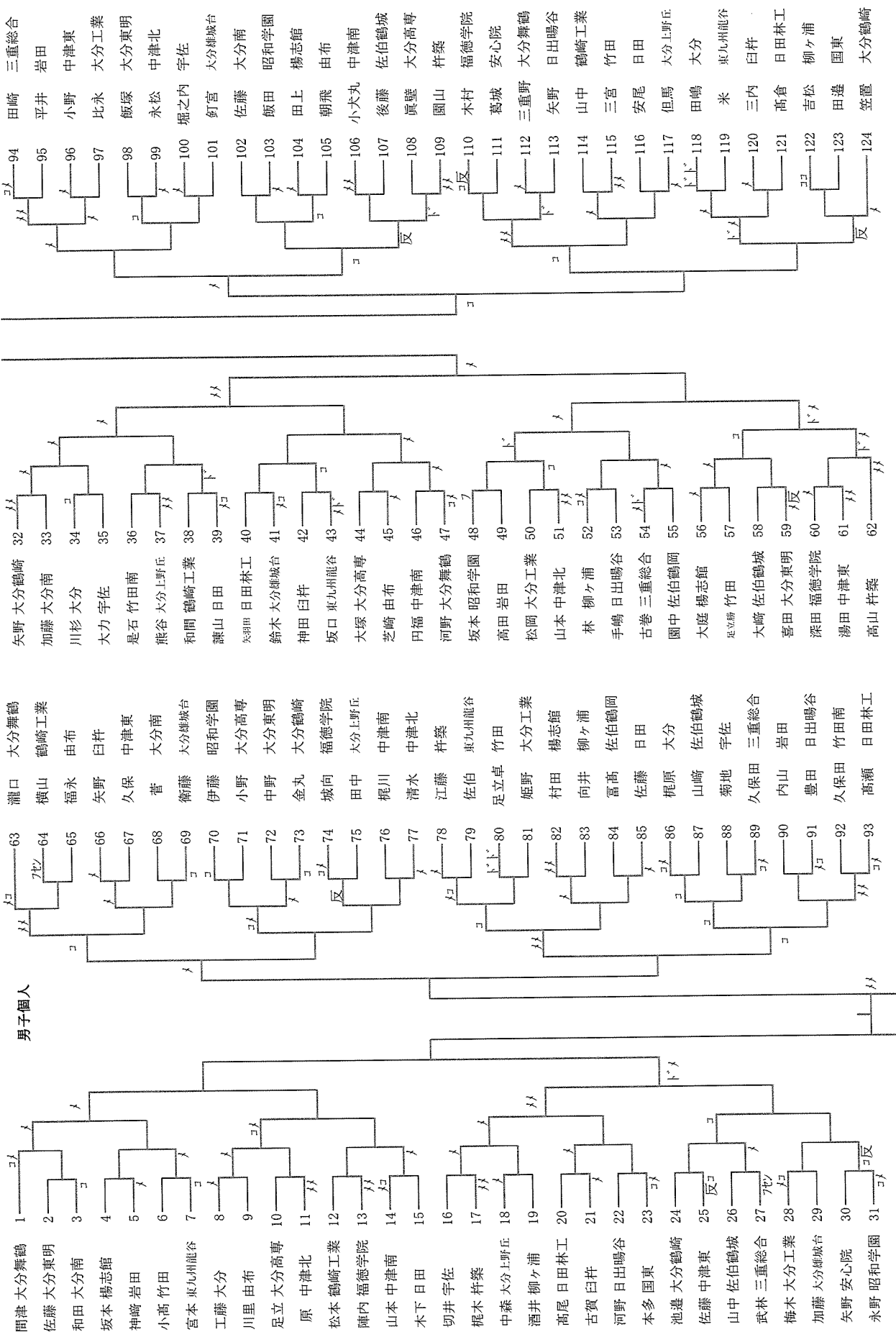
[illegible]

子女

決勝	三重総合	大分鶴崎	大分	昭と学園	勝	負	分	大星	小星	順位
三重総合	$\frac{4}{4}$	$\frac{0}{0}$	$\frac{4}{3}$		2	1	0	7	8	2
大分鶴崎	$\frac{1}{1}$	$\frac{0}{0}$	$\frac{4}{2}$		1	2	0	3	5	3
大分	$\frac{4}{3}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{6}{4}$		3	0	0	9	12	1
昭と学園	$\frac{2}{1}$	$\frac{2}{1}$	$\frac{0}{0}$		0	3	0	2	4	4

女子個人

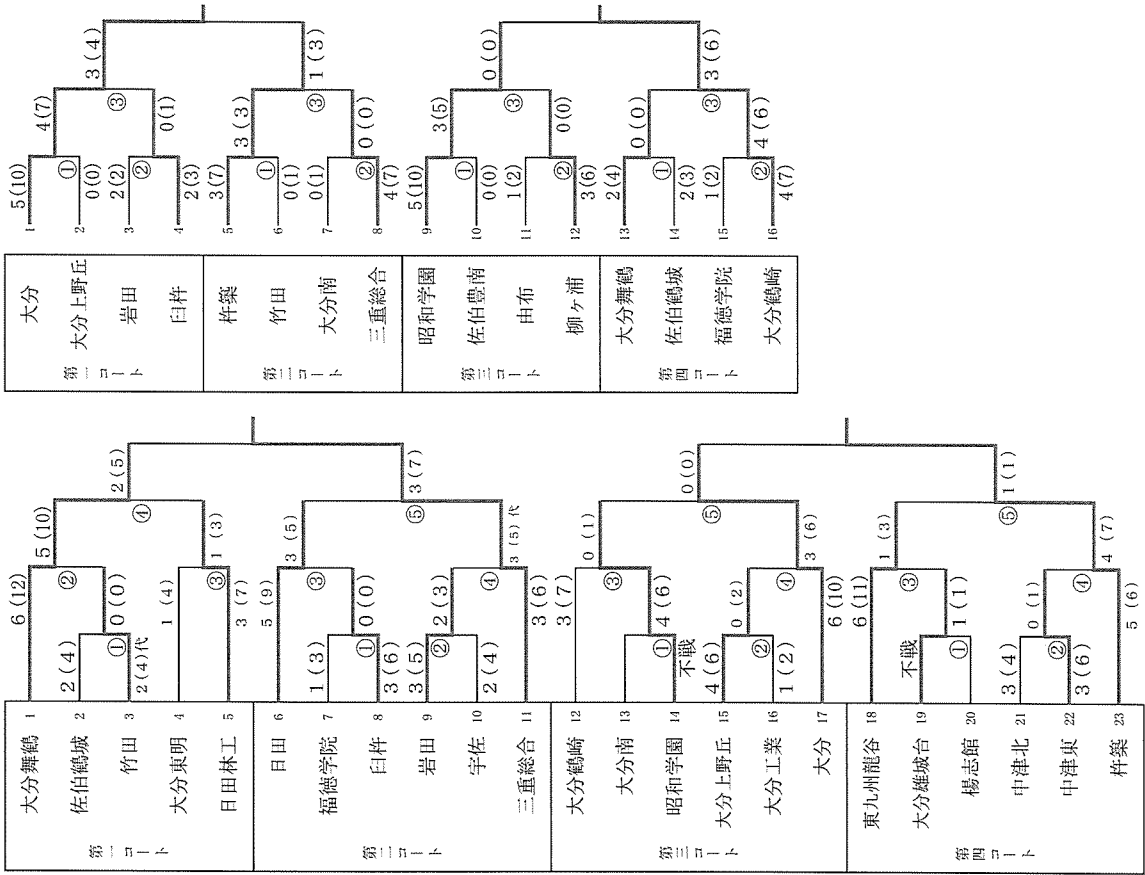




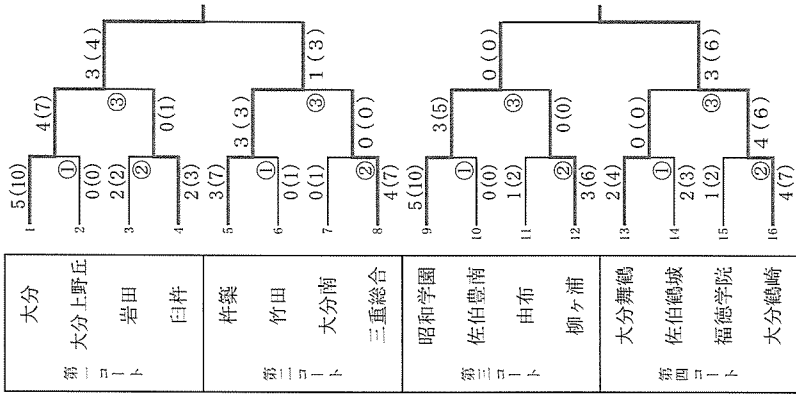
平成24年度大分県高等学校新人剣道競技大会（第41回）

平成24年11月10日（土）/11日（日） 於：別府アリーナ

剣道団体男子



剣道女子団体



女子団体の部

決勝 大分 1 - 2 大分鶴崎 ※大分鶴崎の勝ち

決勝	大分	1 - 2	大分鶴崎	※大分鶴崎の勝ち
大分	先 堤	次 本 田	中 森 田	大 中 村
大分鶴崎	引き分け	三 三	引き分け	(2)
大分鶴崎	引き分け	廣 石	▲ 小 西	(2)
大分鶴崎	小 松	佐 藤	河 村	2

優勝 大分鶴崎 高校 ※九州選抜大会出場権獲得
第2位 大分 高校 ※九州選抜大会出場権獲得
第3位 昭和学園 高校 ※九州選抜大会出場権獲得
第3位 杵築 高校 ※九州選抜大会出場権獲得
◆ 大分鶴崎は6年ぶり5回目の優勝

男子団体の部

決勝 三重総合 1 - 2 杵築

決勝	三重総合	1 - 2	杵築	代表
三重総合	先 大 野	次 田 嶋	五 児 玉	大 古 巻
三重総合	引き分け	三 三	▲ コ	1
杵築	メ 佐 藤	引き分け	メ 高 山	引き分け (4) (6)
杵築	メ 佐 藤	引き分け	メ 池 部	2

優勝 杵築 高校 ※九州選抜大会出場権獲得
第2位 三重総合 高校 ※九州選抜大会出場権獲得
第3位 大分 高校 ※九州選抜大会出場権獲得
第3位 大分鶴崎 高校 ※九州選抜大会出場権獲得
◆ 杵築は2年連続6回目の優勝

男子個人戦

優勝	園山	和槻	杵 築	高校
2位	三重野	剛	大分舞鶴	高校
3位	坂口	大樹	東九州龍谷	高校
4位	笠置	善治	大分鶴崎	高校
5位	樽本	康平	大分鶴崎	高校
6位	永松	拓馬	中津北	高校
7位	佐藤	凌	日 田	高校
8位	高瀬	雅矢	日田林工	高校

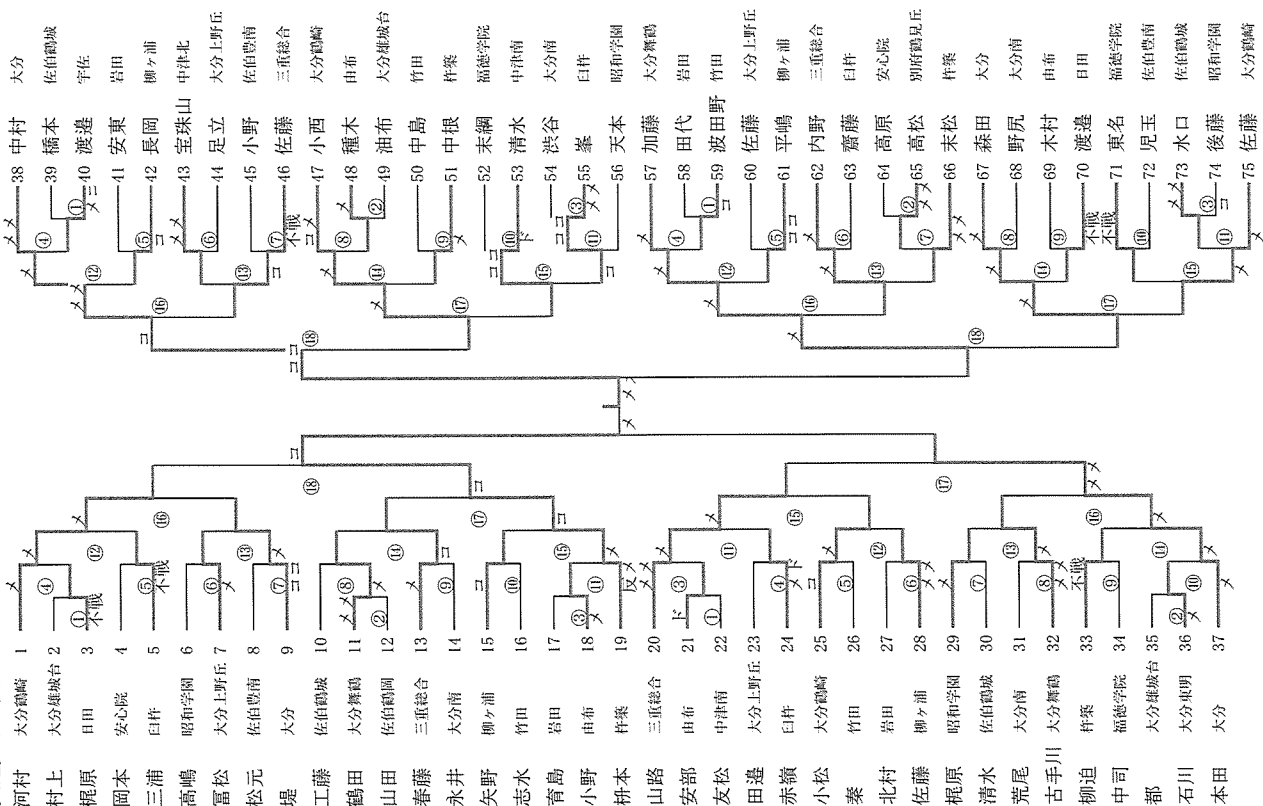
女子個人戦

優勝	中村	愛梨	大 分	高校
2位	榊本	成美	杵 築	高校
3位	加藤	早織	大分舞鶴	高校
4位	本田	彩子	大 分	高校
5位	小西	波瑠	大分鶴崎	高校
6位	河村	奈穂	大分鶴崎	高校
7位	森田ゆりさ		大 分	高校
8位	山路 あい		三重総合	高校

男女とも8位までが九州大会出場

剣道女子 個人

別府アリーナ



剣道 男子

別府アリーナ

